

名古屋大学法学図書室所蔵

【再録】北村兼子『短い演説の草案』

(表紙)

*縦12.9cm×横8.1cm

SHORT SPEECH OF DRAFT
ミジカイ エンゼツノ ソウアン

(背表紙)

短い演説の草案

大(阪朝日新聞記者
北村兼子著)

(見返し 遊び紙)

捧

著者

瀧川先生

兼子

(扉)

北村兼子 著

短い演説の草案

改善社 発行

(口絵写真1 演説をする北村兼子)

(口絵写真2 ラジオ放送用マイクに向かう北村兼子)

序

演説は坐談の拡張であり演説の洗練したものが文章であるから、坐談をそのまゝ、秩序を立て、大衆に発表すれば、それで演説の本能は尽されてゐるのである。

だが、それは理論であつて實際に於いては坐談に巧みな人が必ずしも演壇の雄者ではない、自個の意見を順序よく纏めて、そこへ多少の技巧を加へる必要があり、まだその上に熟練を要する。

この書は短い演説の模型を示したもので、練習の目的に綴られた序1ものに過ぎないが、これによつて演説の仕方にヒントを与へるつもりである。

最後に私の拙い演説速記が添てある、それはぜひ読んで頂きたい、たとひ紙上でだけとはいへ、この書を買つて下さつたお馴染み甲斐におたのみいたします。

著者 「序2

目次

短い演説の草案

紙上演説	一
新年名刺交換会	七
銅像除幕式の演説	九
女子体育倶楽部にて	一二
経済会の席上演説	一五
婦人協会	一七

表彰祝賀会の席上	三
家事講習会	二四
社長披露宴	二六
児童保護会	三〇
職業婦人聯盟会にて	三三
社会主義研究会	三五
入営者を送る	三七
入営送別会の席上演説	三九
株主総会の報告演説	四一
小作争議の調停会	四三
紀元節の祝賀会	四六
紀元節祝辞	五〇
乗馬協会の設立	五三
廉売市場の開設	五五
肉食と菜食と孰れが勝る	五七
婦人記者倶楽部	五九
婦人聯盟会	六〇
水道竣工式来賓演説	六三
小学校卒業式の訓辞	六四
学校増築竣工式	六六
敬老会	七一
道路開通式	七三
忘年会	七六
青年団集合の席上	七七

「目次2

「目次3

議員候補者推薦演説	七九
同県人会の席上	八二
料理店の改築 成宴	八四
渡橋式祝辞	八六
処女会創立の挨拶	八八
婦人参政運動	九〇
同業組合副組長就任の辞	九四
寿筵の挨拶	九五
産業組合の創立	九七
新工場落成式	九八
関税改正研究会	一〇二
文明協会のテーブルスピーチ	一〇七
衛生会のテーブルスピーチ	一〇八
禁酒協会のテーブルスピーチ	一四
災害予防協会のテーブルスピーチ	二九
擬国会開会の辞	三三
組合の集會にて	三五
東洋問題について	三八
競争に勝つて	三六
夜学の開講	三八
同窓会にて	四三
司会者として	四四
農事研究会	四九
町村長會議にて	五三
	「目次 4

目 次 終り

「目次 9

軍人後援会入会の勧誘	一五七
絵画展覧会	一六〇
開会の挨拶	一六一
慈善音楽会	一六三
北村兼子女史演説集	
婦人参政に就て	一六七
何とか	一七四
浪人の誇り	一七九
「ひげ」の祝賀会にて	一八七
両性の乱闘	一九四
服装討論会にて	一九八
台所の革命	二〇〇
中平文子射撃事件の一考察	二〇五
	「目次 8
	「目次 7

短い演説の草案

紙上演説

私はこの書籍を著しました機会を利用して紙上演説を試みて、この書を手になれた方々に一場の放送を致します。

これまでは特権階級が権勢を壟断いたして居りまして、民衆は只その下敷きとなり下働きとなつて、無意味に高いところへ土もちをしてゐたに過ぎなかつたので御座います、しかしそれは民衆それ自身が自己の力を覚らなかつたためにその勢力を伸張することが出来なかつたものである、たとへば日本で富豪といつても十億といふ資¹金を保持してゐるものはありませんが、貯金とか保険とか債券などで零細な端金が集積すると十億を突破する位は何でもないのである富豪はこれを利用して、二重の力を以て自己の勢力を作り大事業を起すことが出来る、もつと適切な例は選挙であつて、僅か一票が集り集つて大政治家を担ぎあげる、新聞紙でも一枚の読者が寄つて權威ある言論機関が成立つのである、かように民衆の力が押し寄せるところに勢が出来るので、その力を利用して若くは指導してリーダーとして進んで行くのは言論である、その言論によつて意見を表示するのは筆と舌とに依るの外はないので御座います。特に普通選挙²が実施せられる今日以後は民衆の力を度外視して何の成功もある筈はないので御座います。

私は筆によつて立つてゐる新聞記者で御座いますが、時としては社から派遣せられて演説をしたり、または放送局でラヂオ演説を試

みたりして、筆以外に舌を働かせる場合もあつて、その要点をノートに書き留めて置いたことがあつた、それを前月「ひげ」と題する私の文集を発行したに引き続いて改善社から出版したいといふ希望があつたので、臨時に急いで短いものを追加して見たのが、この一篇となつたので御座います。

3

私は考へる、演説は技巧によるよりも、直ちに誠意を披瀝して聴衆の肺肝を刺す——これが極意であらう、熱心な言語の前には感動が伴ふ、いくら舌は廻つても熱がなく誠のないものは、いはゆる「演説使ひ」であつて、選挙に於けるお傭ひ弁士のようなもので何等の權威のあるものではないのです。

だが、ただ熱心だけでは上乘なものではない相当な言ひ廻しが必要であつて舌を鍛錬させて置くことを怠つてはならぬ、言ひ廻しといへば聴衆のダレ気味になつた時に眼先きを転換させるとか、抑揚、頓挫といったような文法は、そのまゝ、演説にも使用が出来る。」⁴

私の浅墓な体験を申しあげると、大学の法科で只一人の女学生として雄弁会などで野次られ通したおかげで、女子聯盟や共学問題などで遊説しても演壇で立往生するようなこともなく、しまひには心が麻痺したものか聴衆が騒げば騒ぐほど却つて興味をもつて演了するようになつて、処女会や婦人会で講演を委嘱せられて余り静肅な時には却つて気合が抜けるような感じが起つたことがありました。

演壇に立つた時は第一に心を落付けること、聴衆を吞んでかゝること、態度をと、のへること、野次に頓着しないこと、熱心に演説を進めること、こんなことが必要であらうと私の未熟な経験から割⁵出しました、私はもちろん雄弁家ではありません、雄弁の獅子吼の

代りに咄弁の豚吼であります、だが筆と舌とは漸く自分の意旨を述べるに差支へない程度、どちらも辛うじてその場を過ごす程度で御座います、それにこの書を著したことは、チト厚かましう感ぜられます、てうど貧乏文士が矮屋で「成功の秘訣」を書いてゐるような心持ちであるが、何も修業である研究であると思つて綴り合せたものであるから、その積りで御利用あらんことを切望する次第で御座います、いさ、か所感を巻頭に述べて本文に入ること、いたします。」6

新年名刺交換会

諸君、私は当会の幹事を代表して御挨拶を申し上げます、古からの風俗習慣の中で尊重すべきものと尊重すべからざるものと、更にその一部を改訂して現今の世態に合致せしむべきものとが御座います年礼の如きは虚礼だと排斥してしまへばそれまでで御座いますが、年の改まると共に心も改まり人生五十年の小区画として一のユニツトの始まるごとに新たな心を以て進んで行くといふことは面白味のあることで、この日を以て旧年の交遊を追懷し更に來るべき一年の「7友情を温めるに就いて甚だ好い機会と存ぜられます、しかしこの儀式は今日の時代に適應しない点が御座いまして、名刺を以て戸別に訪問したり致しましても、知り合ひの全部に行き渡るのは六つかしいことで、訪問したのもあり訪問を略したのもあるといふ様では却つて敬意に欠けるのみならず現代に適應しない非文明なこと、存じまするが故に、この新年会に於て名刺の交換を行つて、これをもつて新年の御慶に訪問する礼儀を略すること、致したいので御座います、ただ一合の冷酒と一皿の煮しめものを配膳いたしますから、粗

末なお待遇で甚だ恐縮で御座いますが質素と簡便とを旨と致しまし」8
た幹事の心情を斟んで、快く一杯を傾けて今日を祝福せられんことを希望致します。

銅像除幕式の演説

閣下並に満場の諸君、

本日は故永井建徳翁の銅像除幕式に際して、多数の御來臨を得て發起人たる私共は甚だ欣快に感じ、また設備の不完全であつたことを恐縮いたします。

私は永井翁の偉大な功勲をたゝへる外に、更にそれよりも敬慕す」9
べき点は翁の一生が公明正大なる一路を歩んだことである、公明は太陽の光りである、一般の成功者が華やかな表面があると同時に、その裏面には必らず暗い影がさしてゐるものである、そして成功者には大なり小なりの不道德が伴つてゐるものと原則づけられてゐたので御座います、然るに翁はこの謬れる原則を打破つて、薄くらがりでコン／＼鼠が物をひくような行動に出でず、常に明るい道を闊歩し常に正しい眼を見開きつゝ、堂々たる功績を挙げたのである。

然れども偉大なる翁も人間であつた、ゆゑに死なれた、しかも八十といふ長寿を以て此世を去られた、長生きといつても人間の程度」10
は知れたもので八十歳を過ぎぬ、天地の悠久に比べてホンの一瞬の閃きに過ぎなかつたが、翁の精神は不滅である、その施設は事業に残りその徳行は醇風となつて後世に残る。

われ／＼がこの銅像を建てたことに就いて功名に淡泊であつた翁は定めて地下に笑つてゐられること、考へますが、われ／＼が翁の

遺風を追懐する切なる心の表現として、思慕の真心がこの銅像に刻まれてゐるのであるから、決して悪い感じを感じられないことを信じるのみでなく、私共は生前に翁の薫陶感化を受けたものであるが、私共の子孫で翁を知らないものには、この像を指して翁の徳行偉績を説いて教育の一助とすることが出来るので、この挙はたゞに翁の名譽のためのみでなく、実に後世に対して絶大なる教訓を打ち建てたものと信ずるのである。

終に臨んで翁の徳行の余慶が子孫に及んで一家一門のいよく幸福であらうことを祈ります。

女子体育俱樂部にて

今回女子体育俱樂部の設立を見ましたことは時宜に適せる企として私は双手を挙げて賛意を表するものであります、併しその賛成は無条件のものではありません、この機会に私は簡単にそれに就ての意見を述べさせていただきますと思ふ。

女子の体育奨励も葉が利き過ぎた感じがある、このごろの女子運動は肉体をサラケ出して羞恥の感じがなくなり、更に或る種の競技になると、旗の争奪、ボールの技巧に狂気のようになつて、甚だしいのになると手脚に傷をするといふ——男性化——ではない——野蛮人化——それよりも進んで野獣化して体育の程度を越してタチの悪い争鬭の域に進んでゐる。

かような程度を越した運動が害をして、三十歳を過ぎた頃から急に病身となつて容色も衰へ、そんな外面的頹廢よりも、勝負に重きを置くといふ根本的錯誤から出発して女子に尊ぶべき謙讓の徳性を

傷け、暴なる運動のために身体を弱める、これは体育でなくして精神と肉体との破壊である。

体育はもちろん結構であるが活発と乱暴との区別さへ分らないようでは甚だ有害である、本俱樂部の如きは宜しく時流に媚びず超然として女子本来の使命を損ぜざる程度に運動の種類を取捨して模範を示されんことを希望する、これが私の賛成条件なので御座います。」14

經濟会の席上演説

永く打つづいた不景氣を切り抜けて、わが実業界は漸く恢復の機運に向ひましたことは満場の諸君と、も大に慶賀すべきことであり、われ／＼が働くべき舞台は大に拡がつて來たので御座います。

今や金融は大緩慢を來たしまして日銀第二回の利下げも時の問題とせられて居ります、その結果として有価証券界の殷盛は常規を外れてはゐないかと思はれるまでに強き刺戟を受けて居ります。

かように溢れようとする黄金の流れは何処に向つてそのハケ口を見出すであらうか、それが重大な問題であつて、二年前には日本も經濟的に亡びるであらうと悲觀した人たちまで、足も地につかないまでに浮かれてゐるのは最も恐るべきこと、云はなければなりません。

今が大切な時期であつて、再び前年の禍を繰返へしてならない、この喜ぶべき潮流を利導して生産事業に注入して、財界の基礎を固めることは、投機から生産への転換であつて、中間景氣を抑制し、やがて來るべき本当の好景氣を招く賢明なる行為であらうと考へるので御座います。

本日は有力な実業家の方々の集まりで、かような機会に私の所感を述べる事が出来ましたのは私に取つて此上もなく欣快とするところで御座います。

婦人協会

本日は職業婦人、すなはち働く婦人たちの集りであつて、遊ぶ女の多い世の中に働く女尊い女が、かくも熱心に智識慾を満たさんため参集せられたことに敬意を表します、ところで私のお話いたしますことが、果してお集りになつた方々に御満足を与えるか、それ17

わが国は一年に七十何万といふ新しい国民が産れて、そしてその捌け口はいへば一年に五万から七万、まづ一割たらずの外国出稼ぎ人があるばかりで、もはや開墾すべき土地を持たない、利得すべき天恵も持めない、狭いところへ窮屈な思ひで共喰をしてゐるため、衣食住に要する最低限度の物資さへ不足を告げてゐる、さてどうするか、働かなければ仕方がない。

その働くべき男子は十時間の労働に服してゐる、この働きは最大能率だからこれ以上を強いても無理な話だ、どうすればいいか。」18

大昔は女も男と同じように働いた、それが近古から働く女は下等で、ブラ／＼遊んでゐる女が上等だといったような風習になつて、働く女は「職業婦人」といふ妙な別格の女に区画せられてゐるが、今日の日本に働かない女、仕事を持たない女があるといふことが大なる贅沢なのである、そんな女に不足がちな米を喰ひつぶされてゐることが誠に惜しいものである、すでに男子の精一ぱいの働きでヤ

リ切れないとすれば、女に働いてもらはなくてドウするのか、われわれは国家必然の要求に應じて日本を救はう為めの働きをしてゐるのである、経済的危機から日本を甦らすものは、われ／＼女性でな」19

くして誰れである。

働くものには権利がつく、われ／＼は働くとも無理解の苦しい服従から解放してもらひたい、皆さんがこゝに集つて同盟会を設けようとせられる、それは大にいゝゝ、弱きものと見下げられてゐたのは畢竟団結力がないからであつて、これまではそれ／＼立場を異にしてゐたために、また偏狭な心根の為に、個々別々に行動してゐるか、たとひ集つても虚栄の同士討ちを始めるばかりで、いつ迄も発展の見込がない、それではいけないと目ざめた人が期せずして集まつたのが此の会合で、さうして亢奮の熱の中から燃え上つたの」20

が、この協会である、結構、皆さん大に発奮して下さい。

だが権利を要求すると共に働く手を休めないで下さい、あなた方が働きを休止する時は、悲憤の叫びにも權威がない。

与へられた五分の時間が今や切れる、皆さん日本の男子はモウこれ以上働けない、金はない、土地も狭い、食物もない、予備隊を繰出さねばならぬ、われ／＼は予備から現役へ、第一線に立つて働かねばならないのである。」21

表彰祝賀会の席上

大江多門君はわが村の村吏となつて茲に三十年、たび／＼助役又は村長に推薦せられたが、自分の好むところでないといつて書記の地位に甘んじて自ら万年書記と称して栄職を辞して、つひに本村を

以て模範自治体となし、個人の名譽を抛つて全村の名譽と交換した稀に見る偉人であります。

すべて人間の弱点として亢奮的に美事善行をなすものは少くないが、継続的にこれを行ふものは少いので、大江君の如きは納税事務²²に携つては怠納者の跡を断ち、副業の奨励に関しては農家の経済を豊かにし、道路の新設、敬老会の発起、その他一村の醇風美俗を发扬するに力め、村政の施設も君の尽力に待つたものが多い、自己の利益を度外して専ら村の福祉を第一義とした事績を顧みると、その行ひは聖者の行ひ、その心は神に近き心として、私は無条件で大江君を嘆美するものである。

人の位置によつてその行動の華々しいものと、デミなものとの差がある、大江君は前者でなくして後者に属するから、その行動は永く社会に認められなかつたが、隠れた善行は隠れおほせるものでは²³ない、今回内務省から自治功労者として表彰せられたのは、その晚かつたことを感じるが、その晚かつただけ一村の感謝は更に一倍を加へた感がある。

私はこれを動機として第二第三の大江君があらはれて、崇高な思想の感化をもつて全村を掩はんことを希望してやまない次第で御座います。

家事講習会

都市に住む婦人は農村のそれに比べまして、文明の恵沢に浴する²⁴度が深いため、家庭に於ける時間を節約することが出来る、たとへば電灯にせよ水道にせよ、また瓦斯や電車などが労務を助けること

が多いため、時間の余裕を持たねばならぬ筈なのである、たとひ余裕のない人でも文明の利器を有効に使用することによつて人力を節約し得られるのである、然るにこの節約した時間を浪費して益のないそして害の多い享樂に耽つて、空を仰いて虚栄を眺め、脚下に実益の落ちてあることを忘れてゐるのは慨かはいいことではありませんか。

今こゝにお集りになつた五十の女性は、必らず此の点に眼覺めて²⁵先づ脚下から固めて堅実な家庭を形造らうとせられる意気を以て研究せられるのであらうと信じます、私はこの点に敬重を表して、最後迄熱心に講習せられんことを希望してやまないで御座います。

社長披露宴

私は本日の披露宴に列しまして新社長の抱負を承はり心ひそかに社運のいよ／＼隆盛なることを期待するもので御座います。

私は無遠慮な性質で、特に思つたことを口に含んでゐられないもので御座いますから、場所がらをも弁へず思つたまゝを述べさせてい²⁶たゞきます。

実は今回井上君が社長に就任せられたことに就いて会社の内外の噂さを綜合すると、つまり「新社長は力量と才幹とに於いては申分はないが貫目が足りない」といふことで御座いました。

こゝに於いて私は考へた、社長としての資格を形成する基礎条件が果して貫目のみに在るか、モシ貫目に在るといふことが正当な条件としても、その貫禄とか貫目とかいふような茫漠たる或るものがなくては社長としての地位に就いて何かの差支のあるものであらう

か、それが分らぬ。

「27

今まで名は支配人であつたが事実には於いて社長の事務を遂行してゐた人が名の上に於いても社長になつたので何も変つた人が変つた職務に就いたものでもないのを世間の人は驚異の眼をもつて見る、それが私に取つて驚異とするところであります。

然らば貫目がつくといふのは、どうすればいいのか、井上君が年を取れば自然に働きは鈍らうが貫目がつくといふ、ますく出で、ますく怪しい貫目である。

社長は会社組織の中樞でなくてはならぬ、たゞの飾りものであつてはならぬ、実際に於いて力量がなくてはならないにも拘らず権度係が砂糖屋の検査をするように、たゞ貫目不足であるといつたような錯誤心理が根強く、わが国民の心に植ゑつけられてゐるが為に、役にも立たぬヨボく老人が看板となつて行動の主体である地位を塞いで、新進有為のものはいつ迄も——つまり老人になるまで昇進が出来ないといふような、悪い、固い殻を破つて新しい実力ある人を矢面に立てないようではわが国の実業界は振興しないのである、この意味に於いて私は新社長の就任を歓迎すると同時に、社長の椅子に貫目のある尻をかけて重味のある統率振りを見せていたゞきたいので、……咄弁を以て折角の御清興を妨げて恐縮の到りで御座います。

児童保護会

本日は児童保護会といふ意義ある会合に臨席して、この演壇に立つことは私の深く光栄とするところで御座います。

児童の保護事業は宗教家が人道上から見て必要とする如く、資本家が経済組織を維持し危険思想を未生に防ぐため必要であり、更に文明国が社会の秩序を維持し不良少年や犯罪者の簇生を予防する上に於て一層の急務である。

「30

これを以て欧米先進国は力をこの事業に注ぎ種々の方法を以て、この事業を助成してゐるに拘らず吾国に於ては社会局の一部に隷属する小さき事業として、感化院孤児院等の貧弱な施設を見るばかりで、この重大な事柄は防貧的に理解を欠いてゐるので御座います、特に現今の経済組織では将来ますく貧民の増加は免れないにも拘らず、この状態では都会は犯罪者の揺籃たる観がある、この時に有力な方々の手で児童の不良化を防止せんとする、この企てを見たのは実に適切なそして高尚な事業であつて、一個の保護会は十個の刑務所に該当する効果があると信ずるもので御座います。

「31

皆さんが母性愛を高潮せらるゝ、叫びは全国的に響いて、憐れむべき児童のため同情と声援とを惜むものはある筈がない、本会の前途は祝福すべき光に輝いてゐるものといはなければなりません。

職業婦人聯盟会にて

私も職業婦人の単位としてこの会に加はつたことを喜ぶものであり、さうして会員の方々の生々として活気のある態度を見て婦人職業の前途に洋々たる希望を抱くものであります。

たゞ今幹事から御指名になつて、何か簡単な演説をせよとのこと」で御座いましたから御辞退もしないで、この演壇に上りましたわけで、何か感じたことを卒然ながら申しあげようと存じます。

「32

現在わが国の状態を見ますに、女子が学校にある間は相当の教育もつけ、また懷抱する理想もあるようであるが、それが一たび家庭の人となると同時に係累に包囲されて、ほとんど家事に没頭して智識の刺戟を失つて向上の途を塞がれてしまふ、これを男子が外部に活動して日々に新しい見聞を拓けるに比べて非常の差違を生ずるようになってしまふ。

しかるに職業婦人は、男子と同様に社会に立つて、新しい智識を「33」吸収することが出来るから学校教育が実地に延長せられて、智識の進歩が停止しないのみならず経済的に独立することが出来て、家庭に入つても夫に対して妻の人格を認しむることが出来るのである。

職業婦人の増加は世界的の趨勢であり、特に日本のような物質的に貧弱な国にあつて、婦人が手を束ねて男子の扶養を待つといふことは余りに贅沢なこと、考へるので御座います。

今日職業婦人といへば、一種の輕侮をもつて見られる習慣が、まだ残つてゐるのは、以前上流の婦人は深窓に在つて、單に男子の從属者であつた弊害が今に情勢をもつてゐるからであるのと、また「34」つには職業婦人が社会から指弾せられるような操行を見られたからであります。

われ／＼が職業に携はることは実に立派な行動である、もに、社会から誤解をうけるような挙動は力めてこれを避けて、堂々として男子に対抗して行きたいものでこれが私の胸に浮んだ咄嗟の感想で御座います。

社会主義研究会

社会主義者はすなはち危険思想の保持者であり国家の破壊者である、と、狹隘な国家主義者から指弾されて來たのであるが、社会主義が吾が国体と相容れぬ絶対性をもつてゐるや否や、はたその一部を修正すれば国家統治上に貢献するや否やを研究するが本会の目的である。

今から廿年も前は單に社会主義といふ四字を書いたゞけで新聞雑誌は発売禁止の厄に逢ひ、マルクスだとかレーニンを口にしたゞけで既に官権の睨みを受け、普通選挙を唱へたゞけで物騒な人間と思はれた時代もあつたが、時代は變つた、われ／＼は過激な危険思想を排すると同時に偏狭な国家主義に賛成することは出来ないのだ「36」る、われ／＼は白紙主義を以て諸君と共に新社会を構成すべき基礎となるべき主義を研究したいといふ趣旨に外ありません。

入営者を送る

今や十五人の健児はわが村から選まれて第四師団に入営せられるので、粗末な設備ながら本日のを設けて諸君の入営を壮にしたいと思ふので御座います。

今や國際的に平和の氣風が漲つて、もはや残忍な戦争などはあるべきものではないといふのが平和心酔者の説く所で御座いますが、「37」それは大きな誤りで、表面に現はれたものは仁義道德の辞令であるが、その心中に藏するところのものは虎狼の貪婪である、彼等は軍備を制限すると申しますが一人として軍備を撤廃すると申しません

さような外交手段に乗せられて軍備を忽にし、尚武の心を弛めるものは彼等の畏にかゝつたもので、亡びることは受合ひの国家である。諸君は多数の中から選まれて干城の任に当る、何といふ光荣であらう、しかも顔に憂ひの色なく、心に喜びの状がある、その欣然として入営する雄々しい精神は、われ／＼に感激の謝意を表せしめるところであります。

「38

もちろん、入営の当時は新兵として慣れない生活に入るので御座いますから相当の苦痛もあらうが、そんなことを厭ふようでは到底軍国の重責を堪へることは出来ないで御座います、行け！諸君、光荣を荷つて国民の義務を完うせられんことを希望して止まないのは、たゞわれ／＼ばかりでない、諸君の父兄のみではない、実に一村を挙つて諸君に期待してゐるので御座います。

入営送別会の席上演説

今回井上武雄君が入営せられますに就て送別会を開かれます「39
御通知に接し私は欣然として参会いたしまして、席末に列する光荣を得ました。

惟ふに今日に當つて最も憂ふべきことは思想の動揺と人心の不安とで御座います、或る人たちは思想を一の遊戯として取扱つて自己の立脚点を忘れてゐるものがあります、今や国民は思想の不安といふ事柄に直面してゐますが、モシ建国の大精神が国民の総てによつてシカと握られてゐたならば、如何なる反国体の思想が侵入しても何等の作用を働く余地がない筈である、危険な思想がますます蔓延するか、はたその動く余地がないようにするかは皆国民の自省に「40

よつて定まるのである特に軍隊はそんな非帝国の思想が入ることを一歩も容赦しないので、これあるがためにわれ／＼は枕を高くして安全なる国体の上に眠ることが出来るのである。

争闘は人類の通有性であつて、修養を積んだ聖人でない以上は、心中からこの争闘心を除き去ることは出来ないで、世界は争闘気分に出上つて、絶対の平和は観念であり空想である、けれども好い方面から見ても生存競争は一種の争ひであるといふもの、その半面にはこれによつて社会の進歩発達を促進する利益がある。

理論はしばらく之を片付けて置いて、現実の事柄として人には争ひあり国には戦ひのあることは免れ難いことで、武備の必要は依然としてその必要の程度を減じないのである。

井上君は平生から忠愛の思想を保持せられ且つ膂力が衆に秀で、精神に於いても身体に於いても国家の重きに堪へる人である、かような人を軍隊に送ることは吾々の名誉であつて、必らず拔群の成績を挙げて戦友を驚かすものがあらうと期待して、一言もつて其行を壮んにしたので御座います。

「42

株主総会の報告演説

只今から定時株主総会を開会いたします、本期間の貸借対照表、財産目録及び損益処分案は印刷して御手許へ差出しました通りで御座いますが、本期の営業状態に就いて簡単に御報告申上げたいと思ひます。

本期は既往数年間に渉る不景気の趨勢を承けまして、商況は相変らず沈衰の裡に経過いたしました、幸に本社の製品は優良である

との世評で、昨年の同期に比して一割以上の売上げ増加と成りました」43
て、他の同業会社比にして、まづ良好な成績を挙げることが得まして、不十分ながら損益表に計上してあるごとき純益金を産み出すことになりました。

注文は相当に輻輳して工場の全能力をあげて製造して居りますが尚ほ十分な能率を発揮するには到りません、工場の増築も進捗いたしました、今から三週間の後には、この方でも操業を開始いたしますようになれば、更に二割の生産力を加へますから次期には今期以上の成績を挙げ得られるものと期待いたして居ります。

製品の前途は有望であつて、一部を輸出に振向けて見ましたが、その結果は良好で御座いますから、目下有力な代理店を物色中で御座いますが、将来はこの方面にも一層の努力をいたしたいと考へて居ります。

尚ほ営業報告書に御不審の点がありますれば御質問に応じて御説明申し上げること、いたしますが、次に監査役さんからの監査報告がある筈で御座います。

小作争議の調停会

二年間も結んで解けなかつた小作争議が、吾が村に累ひして村民は皆陰鬱の間に日を送つて居りました、かような情態で推移いたしますれば結局は共倒れとなる運命の外はないので御座います、それが為め吾々同志は双方の間に奔走いたしましたして其御意見を聴取しましたところ、どちらにも理解があつて、争議の中枢を為すべき論点はホンの些細なことになつて、主として地主に於ては不当の搾取を

やめ、小作人に於ては階級闘争の考へを絶つて、今は只、軽微な感情問題が残つて居るので御座います、私どもはお互に前生からの仇敵でないのみならず祖先からの深い友誼を継続して五郷村といふ一団を形作つてゐるにも拘らず僅少な利害関係から兄弟鬩に闘ぐといふことは共存共栄の大精神に悖るもので、両者が飽くまで争はねばならぬといふ根柢は甚だ薄弱ではなからうと信じまして微力を顧みず調停の任に当り茲に一堂に会して胸襟を開いて御協議を乞ふことといたしました、私どもは飽まで調停を押し切らうとする考へは御座いませぬ、またそれだけの實力も持ち合せてゐませんが当の両者が意地を張つて当然の解決を逡巡するならば世の中にこれほど憶病な無益なことはない。

たゞこゝで御会合を願つただけでそれで私の役目は済んだので、それ以上突込んで進むことは却つて誤解を招く虞が御座いますから」47
必らずしも妥協が成立することを期しませんが、また協議が破裂する危機が伏在してゐるとはどうしても信じられません、安価な妥協であるなど、いふものは事を好むもの、煽動である、如何なる場合でも平和ほど尊いものはない、どうか互譲の精神をもつて円満な解決を告げられんことを切望いたしまして、これをもつて開会の御挨拶といたします。

紀元節の祝辞会

吾国は総ての方面に於いて世界に卓越するといふ誇りをもつて、われ／＼は生ひ立つて来たので御座いますが、しかしつく／＼考へて見れば、必らずしもさうではない、必らずしも天恵のあり特殊の

冠絶した国といふことは出来ないので御座います、けれども建国以來二千五百八十六年といふ悠久なる年所を閲して国体のゆるぎない特有の思想を保持し來つたことだけは、誰れが何といつても芽出度く結構なことといはなければなりません。

明治六年に太陽曆に換算して本日をも以て建国紀元節と定められてから、国民はこの日を以て建国の昔を追想して未來に於ける国家の進展を期し、国は古くとも精神は新しく若やいで、單純な儀式的の「49末節に終らず、實際に於いて、政治、經濟其他總ての点について世界に卓絶する国家を築き上げんことを希望するので御座います、もし然らずして回顧に耽り將來に画策することなくば時運に取残されて世界の落伍者たるに到るであらう、私は今日を祝賀すると、もに明日の希望を維いで進まねばなりません。

紀元節祝辞

金甌無欠の光輝ある国土に生を享けたる吾人は今茲に二千五百八十六回の紀元節に逢ひ諸君と、もに祝杯を挙ぐるを光榮とするもの」50なり。

惟ふに美しき歴史を有し美しき国土を有する日本国民として生れたるは偶然の結果なるか、將た神の指示によるものか、天意のあるところ窺ひ知るべからざるも吾人はこのよき日に逢ひて、この誇りを保持すべく更にその誇りを増加すべき大なる責任を感じざるを得ず。

吾人はこの日に於て歴史の本源に遡りて建国當時の精神を味ひ、清朗玉の如き一脈の清泉を酌んで、新しき感激に打たる、心地、勃

然として胸底より湧く。

乞ふ、けふの紀元節をして、たゞ無意味なる祝日として過ぎさしむるなく、国家の負へる偉大なる使命は、末長くしてますく大なるを知らざるべからず。

い、さか蕪辭を陳して祝辭となす。

乗馬協会の設立

本日は当乗馬協会の發会式に生憎の悪天候で會員諸君のお揃ひが遅く、そのため開会の時刻も遅れまして永くお待たせ致しました段、發起人を代表して御託を申しあげます。

「52

時間も切迫して居りますから簡単に当会の趣旨だけを申し述べることにいたしますが……私どもは他に業務を営んでゐる身の上で御座いますから、この会を設けましたのは、もちろん営利のためではなく、愛馬心の普及と馬術の進歩とを希ふ外に何等の欲望もないので御座います。

国家は馬を要求して居ります、個人は運動を要求して居ります、私どもはこの二つを兼ねて、他の一面には自己の道樂を満足させることに於いて趣味を見出さうとするので御座います。

どうか世間の理解を得、會員の一致を得てこの事業を完成したいも」53

「53

廉売市場の開設

私は浅学であつて物価に對する智識が浅いもので御座います、恐らくは私のみならず日本人の全体が欧米人に比して、さような傾向

「51

があるようで御座います、それは市場に就いての利用法が不十分であることも一つの原因であらうと思はれます。

廉売市場の使命は食料品を安価に供給するに在る、これに附随して公衆の衛生を重んずるに在る、そんなことが総てあると思つて」54

然るにロンドンのビリングスケート、パリーのハルサントラル、ニューヨークのマンハッタンなどの市場に就いての記録を見ますと、その排水の施設、倉庫の設備、汚物廃棄の沈澱装置などは全く科学の最善を尽した努力に驚かされるので御座いますが更にそれより驚くべきことは、これを教育に利用した点で御座います。

市場は家庭へ食料品の智識を供給する通俗教育の一大教場であつて料理法や原料の鑑別法その他女学校などで教へる家事や料理などの科目を実地に見学させる仕組になつて居ります、最近米国では学」55

校教師が市場の利用を宣伝したり市場と他の商店との価格調査をして、日々これを揭示することになつて居るので御座います。

わが国ではまだその域に達して居りませんが漸次市場の進歩するは疑ひを容れません、私は市場経営者が常にこゝに留意して家庭に於ける主婦の理解を得て、個々の台所を市場に延長するようになれば、この市場の繁昌することは当然すぎるほど当然であると断言するもので御座います。

「56

肉食と菜食と孰れか勝る（討論会）

諸君！卑怯な防害の野次をやめて吾輩の菜食礼讃を傾聴し給へ。

吾人の祖先であるといはれてゐる猿は果を食ふ、一種の菜食派で

ある、菜食者の体格が肉食者のそれに及ばないとは、どういふ根拠から出發したものであるか、獅子や狼や鼬などの痩せこけた体が象や馬や牛より優れてゐるといふのであるか。

肉食人の頭脳が菜食人に優つて、文明も肉食人によつて進歩したといふのは欧米人と日本人とを比較して自瀆してゐるものであるが」57

彼の歴史も持たない人、貨幣も持たない人、科学を知らぬ人、最も智慧のない人、エスキモーは純肉食人種であることを忘れて、何か肉食論者だ。

婦人記者俱樂部

われ／＼日本人は米によつて活きる清潔な生活を光榮とするものである、欧米人のなすまゝを丸のみにして消化しないような胃袋には肉食もクソもあつたものではない。

現在に於いて、わが国の制度は極端にわれ／＼婦人の権利を抑圧」58

して居るので御座います、法律でも社会でも政治でも集会でも総ての方面に差別待遇を与へてゐるのであるが、たゞ一つ残された道、それはヌケ路ともいふべき一線がある、それは言論の一路である。

われ／＼が集会に於ても口を封ぜられてゐるが、新聞紙上に於て筆は封ぜられてゐない、だからこの一点だけは男女は均等である。

志ある婦人は他の方面から攻め立てられて期せずして新聞記者といふ方面に活路を見出したので御座います、われ／＼の生くべき路それは一管の筆である、この筆にわれ／＼の生命は托されてある、そしてわれ／＼はこの事業に携はる誇りを感じると、もに、品位」59

風格を高めて一般職業婦人の中に權威ある一団として認められたい

ことを希望するもので御座います。

婦人聯盟会

御指名により一言なかるべからずで起立いたしました、われ／＼は常に力弱い女性として法律社会其他の方面に於いて社会の下積みとなつて居たので御座います、もちろんこれに対して不平不満は沢山にあつたので御座います、だから眼覚めた人たちは時々反抗の声を挙げて居たこともあつたので御座いますが、それも個々に叫んでゐたのであるが故に力もなく従つて反響も少くなかつたので御座います、然るに今回の聯盟は有力な人々によつて企てられ、熱心な方によつて支持せられ、女性としての差別待遇を撤廃し男子に向つて水平運動を試みようとする絶好機関で御座います。

然れども従来これに似た会を催されても、やゝもすれば途中でダレていつの間にやら流産してしまふことが御座いました、どうか本聯盟の運動も徐々に且つ根強く堅実な歩調を以て進まれんことを希望するので御座います。

「61

水道竣工式来賓演説

私は年長である故を以て市会を代表して答辞を述べる光栄を有します。

私どもの日常生活に於て、飲むにしても洗ふにしても浴するにしても一日として水を欠くことが出来ないことは誰れしも知つてゐることで御座いますが、生活の向上と、もに只だ水を必要とするばかりでなく、「良き水」、「便利な水」を必要とするので御座います

今日まで本市に水道の設けがなかつたのは文明人の集団として「大」欠陥であつたといはなければなりません、漸く今日以後は吾等の翹望してゐた「良き水」「便利な水」を得ることになり、これによつて悪疫の脅威から免れ、火災の危険を防ぐことを得、こゝに始めて文明人としての生活と体面を得ること、なりましたことは市民諸君と、もに喜びを同しうする所で御座います。

終に臨んで市当局者——特に直接工事に執掌せられた吏員諸君の労を謝し且つ設計の宜しきを得たことを喜ぶものであります。」63

小学校卒業式の訓辞

本日はこの校から七十人の卒業者を送り出す芽出たい卒業式で御座います。

六年といふ可なり短くない年月を皆さんがこの校門をくゞられて日々顔に合はせてゐたものが、今こゝで、今日限りでお別れをするのは何となう名残りが惜まれて、この目出たい席上でも、悲しみのこゝろもちが湧いてくるので御座います。

もちろん、この永い期間には横着したり面白であつたりして私か」64
ら叱られた人も少くありません、けれどもそれは教育のためであつて、私個人が叱つたのではなく教育といふ役目が叱つたので御座います、私としては憎いと思つて叱つたことは嘗てないのである、だから常に叱つた人でもお別れをする時は一層に残り惜しく感じるのであります。

この中で、これから上級の学校へ入る人もあり、また家に在つて親の業務を助ける人もあり、或ひは他家へ奉公に出る人もあり、目

的によつてそれ／＼の歩み方が違つても、たゞ一つ覺へてゐてもらひたいことがあります、これは餞別のつもりで申しあげるので御座」65
います。

それは何かといへば「正しい人」として進んでもらひたいのである、「賢い人」といふことも偉いが、「正しい人」は更に偉い、どんなに出世しても、どんなに利口でも正しくない人は賤しい人である、どんなに貧しくとも、どんなに身分が卑くとも正しい人は尊いのである。

正しい人はどんな時でもどんな事が起つても、心が正しいから落付きがある、たとへばこゝにあるフラスコでも歪んで置かれたら傾いて倒れる惧れがある、それは正しくないからであつて、正しく置かれたなら倒れることがない、正しくないものは常に心が落付かないで、世をビク／＼して暮さなければならぬから、心に心配が絶へない、つまり一生の損であつて、世の中に害を与へるのであります。

どうか皆さん、この学校を去つても、私が今お別れをする間際のおたのみである一言、すなはち「正しい人になれ」といふことを深く心に刻んで一生のお守りとしていたゞきたいので御座います。

いま私はこの演壇を降ります、さうして皆さんとお別れをいたします、身体を達者にして、精神も達者にして世を渡つて下さい、精神を達者にするとは、すなはち前に申した「正しい人」として暮ら」67
すことで御座います。

学校増築竣工式

私は委員の一人としてこの席に立つて開会の辞を述べる光栄を有

します、

わが町は年々人口の増加に伴ひまして、学校増築の余儀ない事情に立到り、殊に義務教育の年限延長は近き将来に必らず来るべき問題でございます、これに適応せんが為め早くから学校増築の議はあつたので御座いますが、何分多大の経費を要することでもあり且つ」68
永続性を帯びる支出でもあるので、当局者に於いても慎重に考慮した結果、いよ／＼これを断行すること、なり、特にわが町の有力者たる各位が私財を抛つて此舉を翼賛せられました為め急転直下に、兼てからの計画を容易に断行することを得ましたのはわが町の光栄なるのみならず、国家といふ大局の上から考へても心から祝福すべき事であることを信じて疑はないので御座います。

今や世界の趨勢は腕力の戦争から一転して智識の戦争、教育の戦争に變りまして、各国ともに教育費に予算を割いて毫も惜むところが御座いませぬ、わが町もこの趨勢に順応しまして、教育費に多大」69
の経費を膨脹させることは納税者の負担を加重いたしましたして一見苦痛のようでは御座いますが、子孫に美田を残すよりは智識を残してやることが更に有意義なことであらうと思ひます。

幸に良校長を得ましたことで御座いますから、この校門から有為の青年が輩出しまして今日のわれ／＼の苦痛に報いてくれる時期があることは期して待つべきものがあらうと信じます。

咄弁ながらこれを以て開会の辞に代へて御免を蒙ります。

「70

敬老会

本日は御外出に懶い御老体にか、はらず、しかも設備の不十分な

会合であるにもかゝらず、かくも沢山な御出席を見るに到りましたことは心から深く御礼を申しあげる次第で御座います。

青年の働く国、老人が安住を得る国、それが無理のない国家であつて、青年とは過去の青年であつたところの老人の延長でありますわれ／＼青年は老人に代つて、働き残された働きを継続して行く任務があります。

「71

モシ国民に敬老の意志がなかつたならば、その国家は衰滅に近づいてゐるので御座います、吾々が老人を敬する心は、やがて祖先を祭祀する心であつて、わが日本は国体の基礎をそこに築いてゐるのであります。

われ／＼は老を敬し幼を育て、行く国家の中堅で御座いますが、やがて来らんとする老齡が手をうけて前途に待つてゐるのであるから、今日の少年に対しても老を敬する美德を知らしめる必要があつて、この会は決して無意味なものでないので御座います。

仁者は寿長しと申します、それは悪辣な思想の持ち主は、その思「72
想に悩まされて精神に煩悶が多くして長寿を得ることが困難なので有徳の人にして始めて寿を得るといふ意味で御座いませうと思ふ。

果して然らば今日の会は、老人諸氏の寿を祝ぐと同時に、その徳を慕ふ意味において開かれたものと解釈しても差支はあるまいと思ひます。

道路開通式

本日はわれ／＼の兼てからの希望であつた新道路が開通いたしました本庄村と大野町とを繋ぐ交通が開けましたことは誠に慶賀すべ」73

きことで御座います。

以前からこの道路はなかつたものではありませんが、昔のまゝの自然的に開けた迂遠なものであつて、設計によつた便宜な道路でなかつたため、労力を空費し損耗が多く、両町村の頻繁な交通を妨げてそのデコボコたる路は辛うじて小さき荷物を容れるに過ぎない、むしろ自動車ドライブせしめるなどは出来なかつたので御座いました。

今や欧亜の間に空中の交通路も開け、英仏海峡に卅里の大橋を架けようとの話も聞きます、かように世界が交通に重きを置くゆゑん」74
のものは、つまり道路のあるところは則ち経済的の利益があるところで、文明の進歩はその上を歩んでくるからで御座います。

道は人に先だつて存在するものではない、道は人によつて設けられるのである、われ／＼は向上の方法として先づ脚許から固めてからねばならぬ。

この上は利用の宜しきを得て、両町村の福祉を増進する機関となつたなら更に大に喜ぶべきこと、いはねばなりません。 「75

忘年会

本年も余すところ僅に十日、水の流れと年の瀬の早さには、過去を回想して誰れしも深い感慨のないものはあるまいと思ふので御座います。

しかし、吾々は過去を忘れて未来に生きねばなりません、懐古的思想を棄て、生々の活気を絶へず頭に注がねばならない、時は恰も師走で陰の極まる折であるから、一杯の酒を酌んで、やがて来る

べき春の活動に余力を養つて置かねばなりません。」 76

ゆゑに今日の遊びは明春の活動の原動力となるものであります、どうか快く一夕の歡樂を尽されたいので御座います。

青年団集合の席上

本日は暴風雨にも拘らず、かく多数の出席を見ることは団長たる不肖の身に取つてこの上もなく快味を感じる次第で御座います。

顧みますればわが青年団も創立以来もはや八年の星霜を閲しまして、内容もだん／＼充実に参りまして、不肖は昨年以來団長の大任を汚して居りますが、諸君の御指導を受けて大過なく任務を尽し」 77

申す迄もなく青年は国の中心で、青年団は村の中心となつて、幼を憐れみ老を助けて、質実剛健の氣風を養はなければなりません、もちろん善良なる村風を作るには身を以て衆の模範となる覺悟を要しますから、十分な上にも十分な修養を積んで、一村の中堅となることを期待せねばなりません。

相率ゝ相勵まして共存共栄の精神に活きたいと思ひます、尚この上ながら会の発展について御氣付きのことは御遠慮なく職員を鞭撻していただきたいもので御座います。」 78

議員候補者推薦演説

咄弁ながらこの席上の光景に感激して、いさゝか私の意見を吐露させていただきます。

ロンドンタイムスはわが国を批評して、こういつてをります「日

本は日露戦争を以て文化の最高点に達した、それから後はダン／＼下り坂に向つてゐる」と。

人間に年齢があるごとく国家にも年齢とか寿命とかあるものは私には考へられませんが、しかし支那が青年でないごとく、米國は」 79

老人とはいへないとすれば、或は一定の時期に老衰期に入るものと思はれないこともありませんが、ゆゑに國家は常に新鮮の生氣を攝取して若やいだ氣分を絶へず保持しなければならないと私は思ふので御座います。

維新當時に國政に預つたものは、みな新進氣鋭のものばかりであつたがゆゑに政治も生々してをつたのですが、今日の有様は何となく重くろしく且つ停滯してゐるように思はれるといふのは、老人にばかりに國政を一任した結果でなからうかと考へるので御座います

私は経験の大切なことを知つてゐる、従つて老人を敬慕すること」 80

は人後に落ちませんが、ではあるが、その中に若い新しい頭を持つた人を加へることは更に必要なこと、信じるので御座います。

いま、西田君の如きは學識才能、ともに秀で、申分のない人と考へるので御座います、それがたゞ年が若いといふ單純な理由の下に推薦を躊躇してゐられるような形迹のあるのは私は甚だ遺憾に堪へないのであります、いま日本は行詰りの状態にあるといふ人もありますが、私は左様に信じたくないが、モシ國家の老衰状態に入つて居るものとすれば、これは甚だ憂うべきことで新進の人を推して若返り法を講ぜねばなりません。」 81

これで私の意見は尽きてをります、多言を要せぬ、今直ちに満場一致で西田三郎君を推薦して議政壇上に送らんことを率直に希望す

るので御座います。

同県人会の席上

僭越ながら幹事を代表して御挨拶を申し上げます。

突然の催しにもかゝらず、かく多数の御来会を辱うしたことはわれ／＼に取りましてこの上もなく欣快とするところで御座います。

「82

われ／＼が郷里を愛するこゝろは、やがて之を拡充して国を愛するこゝろとなり、国を愛するこゝろを拡充して人類相愛し相栄える思想となります。

ゆえに同県人会は高遠なる愛の基調をなすべき単位で御座いますこの愛に包含せられた本会は貴賤上下を超越して、つまり身分の高低を忘れて、素ツ裸の交際をなし親睦を図り、郷土愛に立脚して共存共栄を築まうといふ趣旨に外なりません。

従つて席次も抽籤によつて定めまして、この間に何等の差別を設けて御座いませぬ、設備の不完全なのは時日がなかつた為めと、われ／＼幹事どもの無能による次第で慙愧に堪へないわけで御座いますが、同郷の誼みを以て宥恕を願ひ、一夕の歓を尽されんことを希望いたします。

料理店の改築落成宴

本日は快哉樓の増築に際して叮嚀な御招待を蒙り不肖も席末に列する光栄を得たことを感謝いたします。

料理とは人間生活の上に不可離な衣食住のうち、食物を文化的に

塩梅して、いはゆる包丁加減によつて快味を与へるところの高等な」84

事業でございます、特に吾々が業務に精励した余暇をもつて、好き風景を前にして飲食することは人生の楽地で御座います、この意味において私は料理店の必要を感じるものであるが、物には必ず半面の害を伴うものであつて、料理店にも之れを利用し善用するものと、これを悪用して風俗を乱し又は暴飲暴食して却つて健康を害なうものがあります、甚しきは家庭の平和を乱し墮落の源を拓くに到つては料理店の弊害も極まれりと云はなければならぬ、今日快哉樓が規模を拡張して社交上必要な機関となし公衆の娯楽場とすることが私が双手を挙げて賛成すると共に、これを悪用しこれを害用する」85

ことは注意して避けねばならないと思ひます。

渡橋式祝辞

満場の紳士及び淑女諸君、

本日を以て虹彩橋の渡橋式を挙げられ不肖またその席末に列し感慨転深きものを覚ふ。

回顧すれば大正十三年の大水は堤を破り橋を流し慘憺たる害を」86郡に蒙らしめ、爾後仮橋をもつて一時を凌ぎ今日に到りしも交通の不便と住民の不安とは産業の伸長を阻礙したるもの幾何なるやを知らず、これを以て河を隔つる両村は協力してこれが復旧を図り且つ国庫の補助を得て漸く三年の宿志を達するを得、欣喜措く能はざるものあり。

しかれども吾人は単に新橋を以て裝飾物として眺むるには余りに高価なるを感じるもの也、必らず之れを利用し之れを活躍せしめて両村の繁栄に資し、一郡の健康体を形成する一大動脈たらしめざるべからず、この席に列したる各位は勿論、一般郡民は必らず此覚悟」87あるべきを信じて疑はざるもの也。

いさ、か蕪辞を陳して祝辞に代ふ。

処女会創立の挨拶

御承知の通りわが町には青年会の設けがあつて、創立以来三週年に及んで優良な成績を挙げ一郡の模範として知られて居るので御座います、これに対する処女会がなかつたのは甚しい欠陥であつたといはなければなりません、然るに今回は有力者の尽力によつて茲に発会式を挙げる運びに立到つたことは誠に当然にして且つ慶賀すべきこと、存じます。

男子には天賦の職務がある如く女性にもこれに劣らない天職が備はつてゐるので、一堂に会してそれを研究し且つ親睦を図るべき必要が御座います、とりわけ処女には尊ぶべき純真な精神と高潔な身体とが御座います。

本会の趣旨は規約に掲げて御座います如く、女としての修養と、やがて来るべき運命にある主婦としての予備智識とを習得するにあることは、その大綱で御座います。

本日は成立を急ぎました結果、参会せられた方々は少数であつた」89のを遺憾としますが次回には私どもも手分けをして入会を勧誘するつもりで御座いますが、皆さまも御友だちを誘ひ合せて一名でも会

員の多くして盛んになるよう御声援を願ひたいので御座います。

婦人参政運動

前刻から各弁士の熱弁を拝聴いたしましたして私どもも大に啓発するところが多かつたことを感謝いたします。

各方面から見た婦人開放の高説を承りましたが、私はその中で洩れた点、すなはち民法から見た女性、そのうちで離婚に関する条項」90に就いて、いさ、か意見を開陳して、しばらくの御静聴を御願ひいたします。

現行法では離婚の訴を提起するには民法第八百十三条の制限列挙の各条項に該当するものでなくてはならないのであります。

その十項目のうちで「妻カ姦通ヲナシタルトキ」と「夫カ姦通罪ニ因リテ刑ニ処セラレタルトキ」との二つが御座いますが、それについて考察いたしますと、女は姦通を為したと同時に離婚の原因は発生するが、男性はその上に刑に処せられてからでなくては原因が成立しないといふ不均等なこと、なつてゐるのであります。 「91

しかるに今度法制審議会の立案では十二項となつて「夫ニ著ルシキ不行跡アルトキ」といふ項目が加へられようとしてゐるので御座います。

それに対する穂積博士の主張によりますと「配遇者カ姦通ヲ為シタルトキ」と変更すること、なつてゐます。

法制審議会の立案は随分茫漠たるもので御座いますが、それでも現行法よりは幾分の進歩を見せてゐる、穂積案に到つては、単に配遇者として性別を設けなかつた点に用意もあり意義もあつて、これ

でこそ文明国の法典と推奨すべきもので御座います。

「92

だが、私は原則として、これ等の総てに対して好き感じを持ち得ないもので御座います、かような重大な両性に跨つた制度を更改するに何故に一人の女性をも参加させなかつたかといふ点に於いて不服なので御座います大不満なので御座います。

何も姦通の予備研究をするわけではないが、これは只一の例證であつて、婦人参政の必要なことはこの一事でも絶叫する価値があるので御座います。

「93

同業組合副組長就任の辞

私は不肖の身を以て当組合の副組長に当選いたしましたことは深く光榮に感じる次第で御座います。

組合員各位の中には識見人格並びに高い方々が多いに拘らず各位の御推挽によつて副組長の重任を汚すに到りましたことは自ら省みて慙愧に堪へません。

この上は誠心誠意、組長の手足となつて犬馬の勞に服し、当組合を盛んに且つ鞏固にするに就いて力を致したいと心掛けて居るので「94御座います、幸ひに諸君の御指導により大過なく任期を満了するところが出来たなら、それは私の本懐とするところで御座います。

就任に際して一言御挨拶を申しあげます。

寿筵の挨拶

本日は各位の御配慮によりまして、かくも盛大なる寿筵を御開き下されて、父母は勿論、不肖私の如きに到るまで御招待を辱うして

席末に列するを得たのは、私の身に取つて終生忘れがたき感激に打たれる次第で御座います。

「95

顧みますれば私一家が、当町に居住しましてから茲に五十年にもなりますが、たゞ古いといふだけで、これといふ功績を残したこともないにも拘らず、僅かな奉仕事業を御取立てになりまして、一家の光輝を加へていたゞいた皆さんの御高誼はたゞ感泣の外は御座いません。

私も父母の跡を継承いたしましたして、各位の御指示に従つて公共のために努力して今日の御高誼に酬いたいと考へて居ります、いさ、か父母に代りまして、この席から御礼を申しあげます。

「96

産業組合の創立

本日村是産業組合の創立に当りまして、いさ、か卑見を申上げて開会の辞にかへること、いたします。

当郡各町村の産業組合の中で成績の不良なものが御座いまして、数年前に創立したものでも何等発展の跡がなく、ために産業組合そのもの、効果を疑はれて、極めてつまらないものであるとの意見を抱いた人があつて、それが為めわが組合も成立が後れたような訳で御座いますが、すべて組合組織そのものは死物であつて、人によつ「97て生きもし働きもするで御座いますから、組合員にしてよくその性質に理解をもつて、経済的にこれを利用しなかつたならば、いくら、規約を設けても何等の機能をも現はすものでは御座いません。

他の一例として旭村の如きは二年前に創立したもので御座いますが、これによつて村の疲弊を挽回し住民の福利を増進して目ざまし

い活動をいたして居ります。

わが組合は、あなた方の組合でありますから、その振不振はあなた方の利用方法が宜しきを得るか否かによつて定まるので御座いますから、どうか吾々を督励して優良の成績を挙げさせていたゞきた」98
いので御座います。

新工場落成式

本日は大東絹糸紡織株式会社の新築分工場の落成に際して鄭重な御招待を受けまして厚く御礼を申しあげます。

わが郷は山紫水明をもつて誇りと致しまして遊覧客の多いところであるから殺風景な煙突などの建つといふことは風致を傷けるといつて反対したものもあり、また紡績女工の風紀から延いて一村の醇風を破壊するといふような説も起つたので御座いますが私は断乎と」99
して反対論を唱へてこの工場の設立を觀迎しましたので、或るものは会社から買収せられてゐるとの噂もあつたようで御座いますが、

商工立国の見地からそんなことは私の問ふところでない、つまらぬ偏見だと思つて別に弁駁をも試みなかつたので御座います。

ことは一会社の工場増設に過ぎないのであるが、この地は土地も肥沃でなく特殊の産物もなく工業らしい工業も起らず僅に原始時代の手工品があるばかりで、それを唯一の特産として誇つてゐるが、機械の發達は近き将来にこの手工を粉砕すべき傾向があります、かような前途のない工業に満足して、文明の工業はこの地に成り立た」100
ないものとあきらめてゐる人々に対して大工業地としての可能性を現実に見せて、更に進んで紡績のみならず諸種の工業が勃興する刺

戟と致したので御座います。

風景のよろしいため遊覧客のこぼして行く小使錢の余りをねらつてゐることは余り意気地のないことであり、また風俗上のことも幾分かその余弊を被むるであらうが鎖国的精神に甘んずるならば兎も角、進取的に工業地とならうとすれば、これも文明の副産物として出来得る限りその弊を減少せしめるように自警して行くより外に途はあるまいと思ふので御座います。

「
今、わが村は工業地としての刻印を押されたので御座います、甚だ歓迎すべき刻印、私はこれによつて第二第三の生産事業が跡をいで起ることを期待するので御座います。」

関税改正研究会

本日は関税改正に就いての研究会を開かれて私にも意見を徴せられたので浅学を顧みずこの壇上に立つたもの、出席の方々はいづれも財界の名士たちでありますから若年の私の考へが間違つた点は指摘していたゞいても決して不満に思はないのみでなく、私に取つて」102
い、研究の資料となるので御座います。

都市の發達が早いために農村は常に引きずれて行く形になつて居るのは事実で御座いますから私は経済的に農家に同情するものである、そこで今関税を改正して食料自給政策に一步を進めようとするのはわが国の大局から見ても果して當を得たものであるか、また少しく眼界を狭めて考察して、農村振興策から見ても果して所期の目的を達成することが出来るか、其点を研究して見たいと思ふのである。

わが国は商工を以て立国の基礎としなければならないことは、狭

き国土に多数の人間を詰め込んである国家としては当然の政策であ」103
つて、事新らしく政党の綱領に加へるまでもないことで御座います
その商工立国の目的を遂げようとするには科学の進歩、労働能率の
振作、金利の低下といったようなもの、外に総ての方面に生産費を
低めることは最も必要なことであるにも拘らず関税の改正によつて
食料品の価格を釣上げて、それで生産費の低きを望む、もしさうい
ふ事で、さういふ結果を待つような事は火を握つて火傷を恐れてゐ
るようなものでなからうかと私は考へる。

これは商工業者に最負した都市住民の身勝手な議論のようである
から農村の立場から検討して見れば、これによつて利するところは」104
例によつて大地主といふ少数の階級であつて、最も救済を要すべき
小作や自作農は消費者であるから、その恩恵に預り得ないのみなら
ず、却つて物価の騰貴に脅威せられて苦痛の増長となることは間違
がない。

農業を保護することはい、商工業と、もに利益の公平なる均等
を得しめることは更にい、しかしそれには自ら他の方法があつて、
教育費の国庫補助とか自作農保護とか、農林省の各種の施設と
かが直接に効果を挙げることであつて、これ等に就ては何人も反対
するものではないが、農民に媚びて生活上直接の刺戟となるべき食」105
料品の脅威を呼び起す如き政策は、農村も都会も共に利するところ
がなして、折角進展しかけた商工業の鼻ツ柱に一撃を加へたものと
信ずるものである。

そんなことを知らないものはない、知つてこれを為さうとする人
気取り政策は、衆愚政治の一大弊害であると断言するもので御座い

ます。

いさ、所感を述べて御清聴を瀆しましたが、誤解の点は御聴き流
しを御願ひいたします。

文明協会のテーブルスピーチ

文明が進めば人類が幸福に住める、そして地上に天国が出来る：
：そんなことを思つたらアテが違ふ。

文明と幸福とは別ものである、大きな罪惡、大きな不幸は文明と
ともに進む、或は文明より先だつて進むかも知れない、だから文明
国民は神系衰弱になり病氣が殖える、医者の研究が進むより病氣の
方が駆け足で進む、戦争の惨禍でも文明の利器を利用するほど、そ
度が高い。

そんなものが文明なら、そんなものは打ち壊してしまへといふ議
論もあらうが、これを打ち壊してしまつたからといつて、吾々は原
始生活に還元し得られるものでないから、人類の不幸は更に甚だし
いものになる、だから吾々は弊害のホコリのか、つたレンズを拭い
て、自分の姿を見直さねばならない。

文明と弊害とは相対的の關係にある、ゆゑに文明の利益を極度に
發揮して、その暗黒面を芟除して最少限度に止めなければならぬ、
それがこの協会の忘れてはならない任務であらうと思ふ。

こ、にあるコップ、水が這入つてゐる、コップは透明で清潔な分」108
明の利器であるだけに、その中にあるもの、不潔は見逃されない、
中の水が汚ないからといつて、コップのせいではない、この中へ一
滴の毒素も滴し得る、けれども何もコップの知つたことではない、

文明の悪用によつて文明全部を呪ふのは早まつてゐる。

こゝの会員には科学者を多く見うける、科学は西洋文明の華である、とりわけ東洋にはサイエンスの進歩が後れてゐる、これをわが国に取入れて文明を向上させるのは諸君の努力に待つのである、けれども科学は人間無限の慾求を充たすことは出来ない、慾求を充たし得ないところに向上もあり研究もあつて、科学発達の余地がある」109
従つて本協会の責任が重いといふことになる。

私は人類の幸福が、この協会によつて促進せられることを期待し更に国家が科学者優遇の途を開くことを必要とするものである。

今幹事さんからの御指名によつて胸に浮んだ咄嗟の感じを述べて御清聴を汚した次第で御座います。

衛生会のテーブルスピーチ

私は御指名によつて御話を致すことになりましたが、医学の大家を前にして衛生の談義を試みるといふことは大胆極まつて寧ろ滑稽」110
に近いことで御座います。

衛生の目的は健康に且つ長寿を得るといふことで御座いますが、私は楽しく生活するといふことが基調であらうと考へるので御座います。

怒つたり泣いたりすることは生命を磨り減らす鑑であります、愉快に暮らすといふことは精神から肉体に安慰を与へて、われ／＼の身体で闘つてゐる破壊細胞と建設細胞との二つのものに対して、建設細胞の方に応援してやる結果を招来するので御座います。

吾々は過去を顧れば、誰れしも身体保護にぬかつてゐたことが数」111

々ある、生きて行く用意を等閑にして死ぬ準備を怠いだのような行動が少くない、けれども年少気鋭のために打ち勝たれて、ヒタ押しに押して来たので御座いますが、そんな精力時代は永続するものではない、御座いませんから食物とか運動とかに留意する外に、務めて精神の平調を維持して行かなければなりません。

その方法として哲学的修養によることは必要であります、そんな高遠な理論よりも平易にして行はれ易いことは物慾を調節することにあらふと思はれます。

山寺の僧侶のように全然物慾を斥けてしまふといふことは凡夫に」112
は出来ない代りに、成るべく焦躁の気分を避けるのが衛生の第一義、長寿の最良法と考へられるので御座います。

われ／＼が天から与へられた寿命は果して何歳を限度としたものであるか、それは百廿五歳といふことも承つて居りますが、どうも今少し不確実なようです、それにしてもわれ／＼自己の怠慢によつて天から与へられた寿命を縮めてゐることは確実であります、少くともこれを大切に保護して行くといふことは天理に適つたことと思はれるので御座います、それには精神の安定を必要とすることは、いふ迄もないこと、考へます。

これが精神的衛生——こんなところで御免を蒙ります。

「113

禁酒協会のテーブルスピーチ

今期議会に幼年禁酒法の改正法律案が提出せられるに就いて、当禁酒協会はこれに声援を与へるため、本日のパーチーを催されまして、私にも意見を徴せられましたことは、私に取つて甚だ光榮とす

るところで御座います。

憲法まで改正して廃酒を実行したアメリカの果断には敬意を表するもので御座いますが、その実際に於いてつき纏ってくる弊害は随分うるさいものがあつて、下層社会は官憲の眼を偷んで密造することとを除いては酒を飲むことが出来ないに反して、上流社会は自由に酔を食ふことが出来るといふ奇観を呈しまして、これでは犯罪の奨励だと痛論する人さへあるのである。

私は人間の本能を抑へ、嗜好を殺して、絶対廃酒国とするといふことに就いては決定した意見は申し兼ねますが、併し幼年禁酒法の範圍を拡張して、これを廿五歳までの青年に及ぼすといふことに就いて何等の躊躇もなく、即座に賛意を表するもので御座います。

法律によつてこれを禁ずるよりも寧ろ宗教と教育との力によつて「飲酒の弊害より遠ざけるといふことが、至当であり合理であるには相違ないが、その上、更に法律によつて取締るといふことは重複して何の差支も御座いません。」

夜のカフェーを一瞥した人は、近き将来に国の中堅となるべき青年男女が肉体的にも精神的にも頹廢して行く姿に戦慄した筈であります、若き人の飲む酒には淫蕩な歌を伴つて、デカタン情緒が頭の中を支配して行きます、この危険から青年を救ふのは国家の為すべき必要な施設の一つであります。その外に優良人種を保護して行く上に就ても必要であり、特に志操の未だ固まつてゐない年頃のもの「116を悪習慣に感染せしめないようにすることは、衛生上から見ても、道徳上から見ても、社会政策から見ても経済上から見ても、どの方面から見ても——酒屋さんの利害から見たら、どうかは知らないが

——まア批難の打ちどころはあるまいと思はれるので御座います。廃酒国にするがいゝかは知りませんが、まづ行はれ易いところから出発するのが、穩健な方法であらうと思はれるのであります。

喫煙でも禁酒でも廿五歳以上から始めたものは、弊害の固定性がないに對して、それ未滿から習慣づけられたものは終生の痼疾となつて、パイプと盃とは死ぬまで身に付きまゝものであります。」

下戸の建てた倉はないといった不条理な金言——まア金言とでもいつて置きますが——それが一般の頭に残つて酒を害物と見ないのみならず、これをもつて絶大な慰藉物と考へてゐるが、實際の統計によると、ドン底生活者は殆んどアルコール中毒者である、酒癖も遺伝すれば貧乏も遺伝する、祖父さんからの酒のみで、先祖代々の貧乏は自慢にもならぬ、倉は倉でナマクラである。

かような意味に於いて、私は明日の大会に大に氣勢をあげて、本協会が活動せられることを嘆美するもので御座います。」

災害予防協会のテーブルスピーチ

私が只今御紹介を受けました北村で御座います、私の職務と方角ちがひですから、この席上では適切と思はれる演説資料を持つて居ないのを遺憾としますが、資本主義経済の欠陥といふ題の下に三分間ばかりの咄弁を振はせていただきます。

都市と火災には離れない宿縁を持つてゐるものと見えて、大きくなればなるほど、火災の害も比例して大きくなつて行きます、その災害率を極めて低い程度に押し上げるの当会の目的であらうと思はれるのですが、私は大都市、そのうちでも大阪人の勘定のス早

いことには感心——感心といふよりも程度を越してた、まげて居るもので御座います。

警鐘がデヤンと鳴る、すぐ胸に浮ぶのは保険額であります、近火で風下だといふと、焼けたと焼けないのとドチラが利益かと、その胸算の早いこと驚くばかりであるといふことです。

自分が放火して保険金を詐取しようといったような極端なものは除外いたしまして、最近火災保険、動産保険が発達したのは結構で御座いますが、競争の結果は保険額の多いことを望んで、実質以上」120

の保険を付けるから、或るものは積極的に焼けることを望み、或るものは積極的に焼けても構はないといふような感念を抱きまして、眼の前で家屋なり動産なりが焼けてゐても、それに就ての賠償金が支払はれるとなれば、国家から見て大損害にもせよそんなことは一笑に附して、自個本位から打算して損害はないといふことになりま

す。

だから近火に際しても慌て、駆け付けるに及ばない、家主にして見れば保険があるから焼けてもいゝ、借家人にすれば家は家主のものだから火の用心も余り注意するに当らない、火元となつても移転」121

してしまへばそれ迄である、家が焼けてもワケがない、道具類さへ運んだらそれでいゝ、その道具も動産保険に付けてあれば棄て、置く方が世話はない……といったように火事を災害とは見做さないから、これに対して冷淡になつて、小さいうちに防がうともしない、また火の用心に注意しないから保険制度の発達のために火事の進歩——進歩といふのはをかしいが——消火器の進歩より一步先きになるので御座います。

どうしても保険会社の自省と耐火建築の奨励に俟つより外は救済の道がありませんが、耐火建築は望ましくても財的關係などで一朝」122にして出来ることではないから、保険を付けるに時価の半額以上の保険額を付けないことにすれば幾分か、この弊を除くことが出来ようと思ふ、そして火事に対する恐怖心、財産に対する保護心を養はしめることが出来ようといふのが、これが私の火災防止の一法、浅墓な考へで御座いますが、御参考にもなりますれば望外の仕合せで御座います。

擬国会開会の辞

只今から擬国会を開きまするに就て例によつて開会の辞を述べさ」123
せていただきます。

普選案の實行は目前に逼つて居りまする今日に當つて青年諸君——すなはち未来の国家組織の重責を荷つてゐる一般青年諸君が、政治的智識の涵養を期することは最も必要なことであると痛感いたしました、前年第一回の試みとして本会を開きましたところ、同感の士によつてこの公会堂を埋める盛況を見ることを得ましたので、更に本日を期して第二回の会合を催しまして、普選に直面して民衆の政治思想を刺戟し一面に於いては青年の弁論を練磨する一助としたので御座います。

どうか、真面目に静粛に模範的の国会を茲に実現したいものと思ひます。

」124

組合の集会にて

本日御参集を願ひました諸案の内、最も重要な第二改善策に就いて只今から慎重なる御協議を煩はしたので御座います。近ごろ吾が組合員の中で、非常な劣等品を販売するものが御座いまして自個のことだけに便利を図るに急にして国家産業の大局より見て、また同業者全体の利害から見て、不利益であり不道德な行為を国際的に行つてゐる人があるといふ噂で、それが噂だけならいゝのですが、どうも事実らしい、いな確かな事実であるとすれば、我利の為に国家も組合もケシ飛ばして顧みないといはなければなりません。

私が、かような不穏当な言葉を吐きますのも国家を思ひ同業者全体を思ふ純真な心からであります、それが為め昨年第一策として丈尺の確保と加工糊入の程度を決定いたしました、それでも十分でないために第二策として劣等生地は絶対に取扱はないといふことに致したので御座います。

わが組合の事業として低利資金の借入れ、生産及び売価の協定などを行ひましたが内に省みて大きな欠陥のある点を改めて、輸出工業の集団としての機能を外部に發揮したいと考るので御座います。

近來は需要者一般の傾向は品質良否の鑑別を怠つて、専ら廉価品に集中する傾向が御座います、それにつれて当業者に於いてもこの時世に迎合して粗製濫造品を売出して得意としてゐる傾きがないではありません、かくては対内的にも国際的にも信用失墜の端緒を開くものであります、今に於いて断乎としてこの弊風を改めたいと思ふので御座います。

本案の内に違反者に対する制裁を設けて、一見苛酷のようでは御座いますが、各自の徳義心に訴へて、こんな規定は空文に終らせてしまひたいものと希望いたします。

どうか慎重に御審議あらんことを御願ひいたします。

東洋問題について

私は只今司会者から來賓として紹介せられましたが、來賓ではなくて、本日の有益な御演説を拝聴しようとして参つた聴衆の一人で御座います、今この壇上に立つことは聴く筈で参つて、却つてお饒舌をすること、なりまして、何だか私の頭の勝手が違うような氣もいたしますが、こゝへ登りましたからには何か簡単に東洋問題について鄙見を陳べたいと思ひます。

最近に起つた世界的の現象は有色人種の覚醒といふ大きな思想界の渦巻きで——バルカンの紛擾ぐらゐの局部的なものでない、もつと大きな衝動で御座います。

有色人種の覚醒、若くは勃興といふことは白哲人は恐れ之眼をもつて視つてゐるので御座います、それがなぜそんなに白人に脅威を与へるかといふ理由を考察して見ると、表面では皮膚の色別けによつて人種争闘の危機を孕んで、この二つの色合はどうしても相容れない素質を持つてゐるかの様に思はれますが、その實際は経済上の理由を基調として出発してゐる利害の争ひに過ぎない、そういう簡単な理由ではあるが、それが相衝突した結果を想像しますれば

歐洲大戰の比ではない、もつと恐ろしい慘状がアリ／＼と眼の前に展開してくるので御座います。

今日の大勢として純粹な正義を國際間に望んでも、それは野暮なことであり、そんなことは公使と公使との間に交はされる辞令に止まつてゐるばかりであるが、せめては余り人道から懸け離れてゐないところの公平が望ましいのであります、これまでは有色人種」¹³⁰を劣等なものと思つて、人間と畜生との中位に置いてゐたようであつて、……人間は最高の靈物であるがために鳥や獸はその、食用に供するために造られてあるのだから、鳥の頸は捻ぢ切つても、馬の皮は生きながら剥いても一向に差つかへのないものであるといふような觀念を有色人種の上に向けて、大手を振つてその領土にノサバリ込み、そこから生ずる利益をネコソゲ吸ひ取つてしまふ、寶石も石炭も石油も森林も、これらは白人のために造られてあるものと思ふ、かように虐げられた十億に余るアフリカやアジア人種が民族的に團結して反抗する氣運をつくる、それが世界戦争の種となる禍」¹³¹因を含んでゐるので、白人らは口で強がりをいつても、だん／＼薄氣味悪くなつて來たようである、その薄氣味の悪い種は自ら蒔いたものではありませんか。

第三インターナショナルの宣伝が歐洲では失敗したが、有色人種殊に東洋では非常の効果を得たと今年の共產党大会で報告せられて居りますが、それは事實であつて、かように機会不均等の下にある有色人種の不平につけ入つて宣伝が利いたのである、これは主義に共鳴したと解釈するよりも庶民階級を駆つて支配階級に背かしたといふ方が中つてゐるので御座います、くはしくは資本主——対——¹³²労働者の争ひに類似した、資本白人——対——労働有色人の間を離間させたまでで、そこはソビエト一流の奥の手である平等主

義をもつて一ト芝居打たうとするもので御座います。

正義は力なりとは白人が常に守つてゐるモットーであるが、その力とは金力、腕力、智力などであつて、道德の力はその中へ含まれてゐない、かような迷ひの夢から自己覺醒して人類愛の見地に立ちかへらねばならない時に到達したのであります。

東洋民族の大宗たる支那は御見かけ通りの動乱つゞきで、どうも支那といふ国には國境がない、統治權をもつてゐる政府がない、こ」¹³³れでは國ではなくして四万々といふ民族の不規則な集團である、だから白人に対して睨みが利かない、印度は更にひどい、文化の淵源たる大きな國も只一人のガンヂーが光つてゐるばかり、波斯はお話にならない、アフリカも御承知の通りの情態であるから、とても白人の心配してゐるような快戰を試みるといふことは思ひも寄らぬ、亜細亞をして亜細亞人の亜細亞たらしめよ……といふが、それは希望に過ぎぬ、少くとも近き将来にそんなことは有り得ないであらうだが、色によつて差別をつけるといふことは如何にも悪いことである、この根本方針が改められぬ以上は、この戦争に代るべき禍は何」¹³⁴らかの方式によつて勃発するものと見なければなりません。

有色人種の反抗と、その労働化、欧米人の恐れてゐるところは茲であります、賢いから眼のつけ方が早い、眼のつけ方は早くても搾取の手は緩めてゐない。その手を緩めなければ禍は緩まない、それが有色人種の叫びであります。

吾々の叫びを、どういふ風に受入れるかによつて危機は鋭くもなり鈍くもなる、ドチラなりとも自由を選択せられるがいゝ、どうなるか、それは有色人種の責任ではないのです。

まだ申述べたい点も御座いますが、本日は他に約束の時間も御座」
いますから、これでお別れといたします。

135

競争に勝つて

僭越ながら私もたつた一言だけ感想を申し上げます。

このたび大阪朝日新聞が主催で、同社の若手記者が、二班に分れて関西の関所争奪リレーを行うことになり、私も唯一の女性としてその中へ加へられまして、偶然にもわが班が勝利を占め、特に私が最後の選手として、決勝点に入つたことを祝してその祝賀会を催されまして私も席末を瀆して、たゞ感激の外は御座いません。」

136

上杉不識庵と武田機山とは有名な戦術家であり、また禅学に造詣が深かつた人で御座います、それほど悟道に徹底した人であるに拘らず残酷な、そして野蛮な戦争といつたような事柄を嗜んだといふことは私に取つて深い懷疑で御座いました、特に私がさしむけられた方面は高野山と壺坂寺、すなはち山であり寺であることによつて禅味と結び合せて一層の疑ひをもつて自動車走らせてゐたので御座いました。

しかるに私は僥倖にも最後の勝を占めて、ゴールに入つて勝利のテープを切つた瞬間に一種の禅味を感じました、そしてわが班の戦術があつたつて勝を占めたといふことが、不識庵や機山が楽しんだところとピタリと一致したかに感ぜられました、かような説は誠に浅墓な考へに過ぎますまいが、闘争性の薄い婦人として身分相応の感想と御聞流しを願ひたいので御座います。

こんなことで責を塞いだつもりで、御免を蒙ります

夜学会の開講

本日から当夜学会を開会いたします、本会の趣旨は規則書にも記載して御座いますから、更めて申上げるまでもないようで御座います、私は講師の一員として開講に際して所感と希望とを簡単に申述べたいと思ひます。

今から十年も以前は高等小学程度の智識で教育の水準線に達したものであつたさうですが、今では中学卒業程度でさへ、まだ日常の要務を処理するに学問の不足を感じる位で、近き将来には大学を出て始めて普通の智識を備へたものとなるといふ欧米諸国のように、水準線が高まつて行くに相違ないので御座います、特に思想の変遷、科学の發達は急潮のように動いてゐますから吾々は学問を忽にするときは、現代の智識から取残されて、遂には追ひ付き得られないほ」
どの間隔が出来る、今日の智識を持たないものは既に今日の人ではない、時代おくれの人である、昔の人である、ゆゑに吾々は智識と道徳とを人格といふ鑄型に溶け合はせて、完全な人物となるべく努力せねばならぬ、今日から一生失はれない強い力を頭の中へ注入するため加盟した諸君が中途で落伍するようなことがあれば、本会の不名誉で諸君の不幸である、薄志弱行は成功の障礙物であるから先づこれを取のけて進まなければなりません。

本会員は強いて年齢と學歷とを揃へてありませんから歩調の調ひにくい点がある、それは講師がたの最も苦心せられるところであつて、むつかしい事をむつかしく講義するのは何でもない、むつかしくはないが、むつかしい事は平易に誰れにでも分り易く講義するこ

140

とが六つかしいのであります、本会の講義は高尚な理論でも極めて平易に述べて、年齢と学力の差違があつても、どなたにでも分るようにするといふ、そこに苦心があるのであります。

そのつもりで、みな歩調を揃へて最後まで一人の落伍者のないことを希望して、これを開講の辞といたします。

「141

同窓会にて

私はこの大手前高等女学校の前身であつた梅田高女に教を受けまして、同窓会に籍を置かせていたゞいてから今で四年になります、兼てこの会に何かの報恩をいたしたいといふ素志は抱いて居りますが、その後、外国語学校へ入学いたしましたゞそれから今は大で法律を学んで居りまして、忙しい勉強のため、まだ曾て一回の出席すらも致しませんでした、甚だ冷淡な態度にあつたことは自ら顧みて慙愧に堪へない訳で御座います。

「142

しかるに万をもつて数へる卒業生名簿の中から北村兼子といふ名を御記憶下さいましたゞけでも過分に存じます、その上に今回は評議員に御推薦下さいまして、更に幹事に当選する光栄に浴しましたことは私に取つては冷汗の流れるのを感じる次第で御座います。

私は勿論辞職するが至当と考へます、特に就任するに不適当な事情が御座います、それは学生であり新聞記者といふ職業婦人で、忙しくて迎も母校のために尽してゐる余暇がなく、幹事として曠職の責を免れられません、一身一家の私事を持ち出しては恐縮で御座いますが右様の訳からで御座いますから一応は辞退もいたしました「143

私は此上はたゞ幹事としての責務を尽せないことを恐れるばかりで御座いますが、多数卒業生の中で私だけは、ちよつと違つた方面に歩んで居りますから、会合のある毎に精勤することは出来ないにもせよ、何かの事で、何かの機会で、本会のために何日かお為めになるようなことがあるかも知れないと存じまして御受けをいたしました、幸に皆さんの驥尾に付いて犬馬の労を尽すことを得たならば、私に取つて最も快しとするところで御座います。

一言感想を述べて就任の御挨拶といたします。

「144

司会者として

私は司会者として簡単に御挨拶を申し上げます。

今日ほど私たち同性の身の上に、むつかしい考案が提出せられたことは吾国の歴史の何処を捜して見ましても、未だ曾て見当たらないところで御座います。

参政権問題といひ共学問題といひ、また民法上に於ける婦人の差別撤廃問題といひ、その他無数の「考へさせる案件」が陸続として現はれて来てゐるので御座います。

「145

しかるに現在女子の学識才能は男子と共に家なり国なりを相棒に担いで果してその任に堪へられ得るかといふに、幾ら最負目に見ても「否」と答へなければなりません、もちろん少数の除外例はありますが、たまゞゑらいたと称せられる婦人を見出して、それは「女にしては」といふ条件付で御座います、てうど現在のように貿易の逆調で円価値が下落して居りますから輸出が促進せられてゐますがその促進せられてゐる理由は円価値の下落、取りも直さず日本の対

外信用の下落から来てゐるとすれば名譽どころか誠にお恥かしい次第で御座います。

— 146

その論法で今男女の爲替關係を見ますれば、一方の方が二割も三割も下落してゐるので、女のゑらいといふことは下落による輸出促進ぐらゐの程度で御座います、その原因は女としては智識を得る機会が男子に比して少いからであります、智識を得る機会が少いが爲めに私たち女性が智識を渴望する程度は、男子のそれに比較して一段の深刻さを帯びて居りまして、吾々の眼前にひっきりなしに展開してくる諸種の考案は吾々の判断と取捨とを要求して居ります私たちが智識を渴望するのは単に自身の利益を図るばかりが目的では御座いませぬ、実に私たちの義務であると共に世界の大勢はこれを「余儀なくせしめてゐるので御座います。」

147

この時に當つて吾が婦人聯合会が該博な智識と穩健な思想とを打つて一丸とし偉大な人格を大成せられた穂積博士の如き人を迎へてその演題を見たゞけで、既に内容の有益さを思はせられる適切な講演を聴くといふことは此上もない意義ある会合であつて、私たちは新智識を吸入し摂取し且つこれを消化せしめて、小にしては一身一家のことより大にしては治国平天下の政策にまでこれを応用しなければなりません、そして私たちの前に提供せられた各種の案件を正しき判断によつて片付けて行かねばなりません、今博士を御紹介いたしますに當つて一言の感想を附け加へて御静聴を汚した次第で御座います

148

農事研究会

只今から研究会を開きますについて、この会の趣旨とするところを簡単に述べさせていただきます。

農村の不振は地方人を駆つて都会へ趨らす結果となり、ために食糧政策の根柢を覆へすこと、なります、私どもが農村振興を叫んでゐるわけは、ただ我田引水の利己主義から出發してゐるのではなくして、実にわが国の安危にかゝる大問題なのであるからで御座います。

149

これをもつて各農会から実行委員を選んで東上陳情せしめてゐる一方には内省的に農業経営法の改善を図り両々相俟つて、その目的を貫徹したいと思ふのでございます。

本日の議題となつて居りますのは優良農具の使用並にその選定といふことで御座いますが、現今農作物の栽培及び收穫、加工等に使用して居ります器具が旧式で且つ不完全な爲め、無用の労力を費しまして、延いて農産物の原価を昂めてゐる点があるようでございます、これは吾々の甚だ遺憾とするところで、尊い人力を無意味に浪費するといふことは經濟上から見ても愚かなこと、存じますこれをもつて農林省に於いても、善き農具を推奨して、その完成を希望して居るのでございます。

アメリカ式の大農法に使用する化学的機械や、ロシア式の電氣力による耕作機械などは、わが国の如き小農制度に適しないといつて棄て、顧みないといふ傾向も御座いますが、しかし又た研究の余地もあるかのように思はれます、その他新案農具の標本や模型なども

参つて居ることでございますから御覧が願ひたいと思ひます、少く」151
とも参考とならうと考へるので御座います。

今日科学の進歩及びその利用は医術軍事はいふまでもなく、総ての方面に行き渡つてゐるにも拘らず、わが農事に関しては一向にその恵沢を受けてゐないで、昔からのまゝに残つて著しい改良進歩の見るべきものがありません、これは確かに農業家の頭が時勢に後れてゐるものと思はれますから、深く反省して研究するところがなくてはなりません。

これは只今も申上げましたような国家的見地から本会を思ひ付きましたことで御座いますから、どうか小作も地主も、つまり労資協」152
力してこの事業に尽していちゞきたいと思ひます。

さういふ考へからこの会が成立つような次第でございますから宜しく御利用の程をお願いいたします。

町村長会議にて

本日の会議は従前にならない緊張のうちに開かれました、それは郡役所の廃止といふ問題に直面してゐるからでございます、これはたゞ行政系統の一部の変更と見れば何でもないことで御座いますが、吾々が全国町村長会議の陳情と決議に参加しました以上は、これによ」153
つて生ずる弊害を避け、更にこれによつて生ずる利便を確保しなければならぬ大責任があるのを忘れてはなりません。

郡役所の廃止はこれによつて行政事務の簡捷を図る外に地方自治権限拡張といふ大いなる理想を含んで居ります、郡長権限の所屬を如何にすべきかといふ善後措置については未だ不徹底を免れませ

が、町村役場は、これが為の新しい幾多の事務を増加し、これが施設を誤るに於ては事務の洪滞を來し経費を増加し地方行政を攪乱する虞があります、吾々は慎重な態度をもつて研究せねばなりません。

吾々はこれまで官庁の誘掖や指導に縋つて自治体の機能を忘れて」154
ゐた傾向はなかつたでしょうか、もしこれありとせば町村自治に於ける大なる禍であつて、依頼心や屈従心は行政機関の錆となつてその働きを鈍らせるものでございます、更に政府から議會に提出せられます地方制度改革要項によりますと、中央議會に於ける普選と關聯いたしました地方議會の公民権、被選挙権の拡張等、なかんづく時代おくれの等級選挙の廃止及び納税資格の撤廃等、吾々が従來取扱つて慣れて來た政務の上に一大変化を來たし、進展の大踏歩を來たすことゝなりました、この画期的な変化に対しても相当の準備を以つてかゝらねばなりません。」155

吾々はこれを機として發奮以て自治の本能に立かへつて考察するところがなくてはなりません、今や都会は爛熟の弊に堪へかねて居ります、質実剛健の氣風——すなはち国家の基礎となるところの質実剛健の氣風はたゞ地方に残つてゐるばかりであります、今吾々は全農村を挙げて動員の振興を企て、田舎ツ子の真面目を發揚し、都市集中の弊を矯めたいと思ふのでございます。

いさ、か所感を述べて開会の御挨拶いたします。

「156

軍人後援会入会の勧誘

本日御來会を煩はしましたのは兼て御話もいたして置きました軍人後援会へ入会をお願いしたいためでは御座いますが、この暴風雨

の中を、たとひ国家のためとはいひながら御来会を煩はしましたことは恐縮に堪へません。

わが国の制度といたしまして、貧乏人でも金持ちでも、戸主でも家族でも、事實上の世帯主でその家になくてもならない人でも特例を設けることなくして平等に強制徴募することになつて居ります」157
さように平等に取扱つても人間の生活状態は平等でありませんがために、これに伴ふ家庭の破壊から種々の哀話を産んでゐるのでございます。

現に昨今の新聞紙上に掲げられてゐる第四師団管下では事実一家を背負つて立つてゐる世帯主が入営した、めに家計は忽ち困難に陥つて、その娘が人肉の市に身を売つたといふ悲惨な事ながらも伝へられて居るのでございます、尤もこういう時に軍事救護金が支給せられる制度になつて居りますが、それには種々の制限や煩鎖な規則がございます、とてもそれでは満足な救済も出来る筈がないのでございませう。

兵役の義務は国民共通のものである以上、かように生活の脅威に直面したものを助けることは正当の義務でございますから、わが軍人後援会は全力を尽して匡救に当つて居りますが、何分限りある資力で、殆んど無限な支出に堪へないのを遺憾として会員を増募いたしました、その目的を徹底させたいと考へて居るのでございます、どうかその辺の精神を酌んで同情の憐みをもつて御来会下さつた方は全員一致御入会あらんことを希望いたします。

「159

絵画展覧会

創立以来早くも七週年の秋季展覧会を開くこと、なりました、本会は開会の数を重ねるごとに清新な生命を開拓してまゐりまして、今回は紋様ものに珍らしい趣味を発見すること、なりました、ロシア、ペルシヤ等の時代と風土とに関する変化などに会員が不斷の努力を見ていたゞきたいのでございます。

時流に迎合しないうちに現代人心の機微に触れたいといふのが、吾々の狙ひどころで御座いますが、果してそれが表現してゐるや否や」160
やについては同人たちも頗る危ふんで居るのでございます、その辺も忌憚のない御批評を願ひたいもので御座います。

どうか緩々と御鑑賞をお願い申します。

開会の挨拶

本日はこの会を創立しまして満三週年に相当いたしますので、それを祝するため懇談会を開き併せて今後の方針を定めたいと存じまして御案内をいたしましたところ、かように打ち揃つて御出席下さいましたことは非常に喜ばしいことで御座います。

「161

本会は御承知の如く商工団体相互の連絡を図り、その發達を助成いたしたい目的で成立つたので御座いますが、四年間に相等の成績を挙げて参つたといふ自信もございましたが、尚一層の振興を企図いたしたのでありますから、どうか本会のため此上ながらの御力添へを御願ひいたします。簡単ながら開会の挨拶を申述べた次第で御座います。

慈善音楽会

只今から開会いたしますが、その前五分間の時間を利用いたしまして、いさゝか御挨拶を申述べたいと思ひます。

当孤児院はその文字どほり親のない孤児を五十名ばかり收容して居つたので御座いますが、現代の世相はます／＼これを拡張しなければならぬ必要を促して居ります。それに就て有志の寄附又は其筋からの補助も御座いますが、到底それだけでは思ひ通りの施設が出来ないので、昨年当公会堂で慈善音楽会を開きましたところ皆様の深甚な御同情の裏に非常の盛会を告げまして経費を差引いて金一千円の剰余を得ましたから、これを奨学基金といたしまして、現にこれによつて中学へ通つてゐるものが三名も出来ましたのでござい」

163

短い演説の草案 終

164

北村兼子女史演説集

165

婦人参政に就いて

先刻から種々の御高説を拝聴いたしましたその中に申述べようと思つて頭の中へ持ち合はせてまゐりました、とつて置き私の意見もすでに言ひ尽さされてゐますから、俄かの思ひつきでは御座いますが、演題を変更して婦人参政に就いて心に浮んだ断片を申し上げますと思ひます。

旧式の政治家も今では婦人の価値を考慮の中へ入れることゝなりましたが、まだ吾々女性の位地は正当に評価されてはゐないので御座いますが、刻一刻教養ある同志の婦人が輩出いたしましたので、やがて女が男子と同様に仕事の出来る機運も近づいてまゐりましたのは大慶の到りで御座います、女に人材がないといふ説も御座いますが、男にだつて人材は、さう芋の子のやうに沢山転がつてゐるものではないありません。

167

女の政治的団結が發展しないのは、いたづらに理屈にこだはつて実行に迂遠なこと、形式に重きを置いて実際の仕事を疎にすることで、器物が奇麗であれば仲味は少くまづともいゝといふので、つまり融通が利かない手段が悪い、そうして世の中の事を理想と一致せしめようとするのが大きな進捗上の累ひとなつてゐるので御座います。けれどもそれはいいことで、政治は明るい道を歩いて行かなければなりませんから 私どもは多少の嘲りを受けても理想を高潮して進みたいので、今日の政治のような暗室で手さぐりに盗み喰

168

ひをしてゐるようなことは御免を蒙りたいので御座います。

次には嫉妬心が進歩を妨げる、適当なリーダーを擁してこれを支持して行くことが出来ないで個々別々に自分が偉いと思つてゐる、偉いものにならうと思つてゐる、それがいけない、また室内に閉ち籠つて智識の刺戟を受ける機会が少い、現に女を主題とする今日の「会場」にも婦人よりも男子の方が多いようなもので御座います。169

ただ今も「変哲もない」といふ野次が飛んだようでは御座いますが私どもは変哲もあらせようとて叫んでゐるのでは御座いません、変哲もあることを望んでゐるお方は、私たちが極端なことを叫んで検束でもされたら大變哲でお氣に入るので御座いませうが、正当な言論が官権に許されてゐる以上は何も場当りを演じて豚箱に這入る必要はありません、たゞ当り前の主張を当り前の形式で唱へるだけで、無理に活劇を演じることは、私ども上方の方では「阿呆らしい」と申します。170

次に女子運動には金がない、この会も無産婦人同盟といふ名称をつけようといふことになつてゐたのですが、私どもが今の名前に變へましたので、それは貧乏は遺伝性のもではない、また恒久性のものでもないからで、金のないのを恥ぢないごとく、金のないのを自慢する必要もないからで御座います、金がないだけ清潔で間違がない、政治は莫大な金を喰ふ、政党は金喰ひ虫だといふこと自体が腐敗の原因である、正当な支途として挙げて見れば有給黨員の給料調査費、視察費、事務所費、印刷費などで総選挙ともなれば別に費用も要するが、こんなものは黨員の会費で支弁が出来る、もちろん「一般の黨員は会費を出さない、会費を出させようとすれば脱党する」171

が併し出すものもあるから年額百円の代議士の党費や支部の役員などの支出するもので支弁出来るが二百万円も三百万円もの大金が出てくる筈がない、それに幹部と称する大酒飲みの大怠けものたちは何処かでその大金をワケもなく摘み出してゐる、その金を出すものは無条件で出すワケはないから、そこに腐敗が伴つてゐる、だから金のあるところに勢がある、この悪い癖を矯め直さねばならない、その矯正の大任は婦人運動の一の旗印として適切なものである。

そこで私どもは手弁当で働くだけの決心を要する、女は家事経済に長じてゐて、収入の何分の一を教育費に、何分の一を交際費に、何分の一を食料費にといったように支出を按排して行く、その通り国家の財政も変りがない、家計簿記の單式が款項目節の複式になり、年額何千円かの世帯が十五六億の予算となるだけの相違で、女だつて地位を与へさへすれば馬鹿ばかりでない如く男だつて賢いに極つてゐるワケではありません、一国は一家の集積だから、耳搔きの職人でも慣れたら杓子の製造も出来るので御座います。

私どもは一日も早く政權に参与して既成政党の醜いカラクリを公衆の面前で種あかしをしなければなりません、どうか皆さんの理解の下に進んで行きたいと思ひます。173

もう予定通りの閉会の時間で御座いますから、私の演説をもつて打ち切りいたします。

何とか

支那の排日が下火となつた頃、桔釣瓶のように印度の排日が燃え上つた、支那といひ印度といひ、共にわが国と仲の好い筈の人種が、

何故にかくも吾々に悪感情を抱くか、その裏面に英人の魔の手が動いてゐるといふ、果して事実か否か、これを否定すべき報導がなく」
して、却つてこれに裏書きする根拠がある、そこで私も考へさせられるのである。

長江沿岸を縄張りとしてゐた英国の影が薄くなつた、それはジャップのワザである、日本の綿糸が印度へ敗路を拡張する、さてこそ黄禍の出現である。だから「何とか」して之れを追つ払はなければならぬ。その「何とか」する方法が果して堂々たる商戦によるならば異議はないが、陰險な暗がりの行動によつて「何とか」しようとする、碧い眼の人が黒い人形の影から糸を引いて、タネの見え透いてゐるのも知らないで、夢中に排日煽動といふ芸当を演じ始める」
智恵のない話である。

印度から日本品を駆逐する、それも面白からう、事實に於いて日本品が粗悪で高価なものなら別に運動費まで注ぎ込んで煽てなくとも、印度人が日本品を買う筈がない、その反対に日本品が良質であり廉価であつたならば、折角の運動も長続きするものではない。白色文明の影が薄く、被征服国の悪化が急激になること、それは日本の知つたことぢやない。

私は印度の排日が日本に取つて不利といふよりも英国それ自身に取つて更に大なる不利で、しかも危険な行為であることを英国人に」
忠告したいと思ふ。日英同盟当時の印度の状態は依然として日英同盟廃棄後の今日にも残つてゐるのである。米国の提唱によつて同盟は終焉を告げても日本と手をつなぐ必要は終焉を告げてゐない筈である。英国の国是は同盟の存廃如何に関せず、皇室の交歓、その他

によつて厚意を傾けてゐるにも拘らず在支在印の不逞英人が目前の少利害のために大英国民の東洋政策をブツ壊はす態度を取つてゐるのは気の毒な誤解である、だが吾々は気の毒だとはかりでは棄て、置けないのである。どんな文明国にも馬鹿ものは居る、グレート、ブリテンにも其数に洩れぬ、馬鹿ものは賢いものよりも数に於て多」
いものである、それが無謀な企てを起して間違つた騒動を持ちあげ、国際的に大事を起した例がある、だから油断はならない。

私は大英国民の反省を促したい、これは勿論賢明な大英国民の勢力を背景とする少数の不逞な商人の所為であつて、英人の多数は却つて迷惑と感じてゐるかも知れないが、靜かに東洋に於いて日本を敵とする結果を考へて見るが、下手な奇術を見せられても、わが国民は卑怯な手段を以て報復しようとは思はないから好意を以て本協会の名に於て元の同盟国民に警告を発したいと思ふのである。」
浪人の誇り

本日の卒業生懇親会に、咄弁な私のようなものが、この壇上に立つ機会を与へられたことは皆さんに対して感謝し、また自ら省みて慙愧に堪へないことで御座います。

大学卒業生の失業者、すなはち高等遊民が懷手して徘徊してゐる今日の世態は、維新以前に浪人が幕府の脅威となつた如く、無用の長物、危険な病根であつて、昔の浪人であれば旧劇の活動で目玉や妻三郎が演じて大向ふを唸らせるが、学士の浪人は活動写真にも」
ならないミチメなもので御座います。

国家がなげなしの財政から何億といふ金を搾り出して、こんな物

騒な人物を養成するかと思へば、たゞ変態現象とのみ看過するわけには行かないので現に今回私どもと同時に大学の法科を出た人々の中で甘パーセントの浪人が出来たので御座います。

何のために高等教育を施したかといへば、その学生を人材として育てるべく、またその人材を国家枢要の位置に据えて経論を行はしめるためではありませんか。

然るに年々卒業期に近づく毎に就職難の声が昂まり、卒業者は商¹⁸⁰品化して市が立ち、国の消化力が許す範囲以上に供給が有り余るので、ブルヂョアは二束三文に値切り倒して買ひ込む、智識あるものの不平は恐ろしいことで、無智なもの、争議よりも根深くて危険なものであります。

そんなに職業がないものかといへば、決してさうではなく、頽齡のヨボ¹⁸¹が二つも三つも或は五つも十もの役目を兼務して、炬燵の中から指図してゐる、しかもその位置は高く且つ激職である、そして働き盛りの新智識が一個半個の職業に有りつけない、これが奇観ではないでしょうか。

維新の時には若い連中が相当に活躍したが、明治になつて老人が政權を握り、更に大正になつてからは老人全盛で、若いものは下働きをするに過ぎぬ、その下働きすら人間が有餘つて溢れてゐる。

そこへ海嘯のように卒業生が推しかける、先方が要らないといつて門を閉めてゐる外から「卒業生は要りませんか」といふ、だから卒業生に権威がない、入学した時は、こんなことになる筈ではなかつたがと思つても既に晩いのであります。

それは景気が悪いからである、景気が直れば、また需用も殖える

といったようなことを気休めに見ても、景気の悪い悪いに拘ら¹⁸²ず若い卒業生が今日のように大量生産となつては、売れ行きの悪いのは当然であつて、智識があつてもこれを使うことが出来なかつたら不渡りの手形か、不換紙幣であります。

こゝで私どもは考へて見ましよう、自己が商品となつて売られて行くことが学問の唯一の目的であるか、学問の目的はそんなものではなからうと思ふ、もちろん吾々は生活の必要がある、だが「生活」とは郊外のハイカラ住宅から新流行の背広を着て通勤するといふばかりではありません、就職が出来なかつたら何も慌てることはない著述もいゝ、筆耕でもないゝ、巡査もいゝ、看守もいゝ、いろ¹⁸³の職業はある、自ら食へないものを他人が食はせてくれるワケはありませんから、まア落付いてゝあまりあせると見つともないのです。

男の就職がモシ女の結婚に譬へられるものなら、無暗にフリ歩いても良縁があるものではない、就職は出来ても百円の月給には何年かの隠忍を要するのだから余り香ばしいものではありません、学問の目的の全部が就職にありとしたならば、私どもが研究を人文科学の上に求めたことが第一歩の間違ひであります、大器晩成——鯨でも二尺三寸といふ大きなものとなるには相当の年月を要します、そして小さい時から悠々たる態度があります、目高のようにチヨカ¹⁸⁴つてはなりません。

学問の組織がブルヂョアの下働きをする機関のように出来上つてゐるから、その関門をぬけて来た私どもは就職せねば生きて行けないように思ひますが、必らずしもさうではありません、早く切符を買はねば汽車が出て行くと慌てるのは田舎者の常態ですが、また時

間は余つてゐる、春の日は永い、のどかに研究して見たいと思ひます。その筋でも高等失業者を持て余して、どんな学校が實際一番役に立つかといふ調査をしたら、商業学校の外は自然科学を主とする専門学校や職工学校であつたさうです、その役に立つといふことは」185

卒業生が早く売れるといふ意味らしいのです。文学や芸術の作品でも高等なものはデキに出来てスグ売れるものではありません、この意味に於いて私どもは失業者としての誇りを感じ、浪人としての光榮を持ちたいと思ふので御座います。

数年間も同じ学窓で勉強してゐた方々にお別れするに際しまして相変らず生意氣な意見を述べて御清聴を汚しましたことを深くお詫いたします。

「ひげ」の祝賀会にて

186

今日は不肖な私のために、大学のお友だちの方がかくも多数にお集り下さいまして、この会を催されたことは、心から純真な御礼を申し上げます、今度私の著しました「ひげ」に就いての感想を申述べよとの事で御座いまして、こゝに立上りましたものゝ、ちよつと前以て申訳をいたしておきます。

女が何かで、ものをいふと生意氣といふことになります、どんな時でも、どんな処でも引込んで、心にもない遠慮して、消極的の嘘」187

をいふてゐるものが貞淑といふことになります、さういふ時世であれば、私がこゝに立上つたことが、すでに生意氣であり、演説をしたりすることは、更に生意氣であるので御座います、もしさういふ風に取られるならば、私は口を開く余地も御座いませんが、こゝの

方々はみな私の友人で内輪の方であるから、私の挙動をお咎めにならないだけの寛恕性をもつてゐらっしゃる方と存じ少し本当のところを申し上げさせていたゞきます、生意氣で聞きぐるしいといふ御感じがありますれば、ストツプと誰れかゞ合図していたゞけば、パタリとお話を中止することゝいたします。

「188

私は大学へ這入つた時から就職といったような考へは持ちませんでした、何かなしに勉強して置きさへすればいいといふ考へで御座いましたが、その後高文試験を受けて見ようといふ氣になつて、願書を提出しましたが、それは反則といふことで目的を達しませんでした、引続いてコツ／＼勉強してゐる間に、私の書いたある文が、或る人の眼にとまつて、学生のみ、新聞記者となることゝなりました。

私が新聞記者となつたわけは、女の身として官吏となることも、実業家となることも、政治家となることも、総ての方面に法規上の」189

障害が御座いますが、たゞ文筆生活だけは何等の差別待遇を女性に与へません、この方面にだけ性別が御座いせんから、私は進路をこゝへ向けたので御座います。

それが満一ケ年目にあたりまして、単行本を著はして見たい氣になりました、ところへ本屋からすゝめられたのですが、何をいつても学生で新聞記者の身の上で、多忙を極めて居りますから、纏つた長篇ものに手を付けることも出来ず、余儀なく時々書きなぐつたものを集めて見たが、とてもものにならうとは思へませんでした、大胆にもこれを出して世評に問うて見ることにしました、このこと」190

に就ての経過は「淑女」といふ雑誌に載せることに致しましたから

いつか機会のあつた時は御読み下さりたいので御座います。

ところが、それが意外の好評を博しまして、初版は忽ち売り切れて再版に着手しましたが、これも残部が少いほどの注文があるさうで間もなく三版を重ねるさうで御座います、かようになりましたも皆さんの御後援の致すところと感謝に堪へません、口先ばかりの御礼ではありません。

私の処女出版が成功いたしましたして、近日の中に、命題のまだ極つてゐない、書籍が三連発で発行せられますから、よろしく御批評を」191
願ひたいので御座います。

たゞ今申上げたことは遠慮のない本当のことで御座います、それでも生意気となり虚栄となつて葬られてしまふ世の中に、皆さんだけは私の純真の発露だと聞き取つて下さいましたものと思ひます。

たゞ今も幹事さんから「ひげ」の出たことが、友人仲間の名譽であり誇りであると言はれまして私の身に光輝をつけていたゞいたお言葉を、私は慙愧をもつて拝聴いたしました、私は拙い筆で大学の恥であるとせられなかつたのみならず、これを名譽として善意に理解していたゞいたことは新たな感謝を湧かさずに済まされません。」192

私はこれから尚更ら勉強せねばなりません、勉強して今日の御好意に酬いるところがなくてはなりません。

私はたゞ今、激しい熱に犯されて居ります、三十九度に近い熱があります。病臥の身を推して伺つたような次第で、折角の御馳走も箸を執り得ないほどの状態で、これから帰つて病床でウン／＼呻吟するので御座います、御厚意を無にするやうで御座いますが、これ位で御免を蒙つて中座させていたゞきます。

「193

両性の乱闘

私が申上げたいことは「両性の乱闘」といふあまり新しくもないが、必らず近き将来に体験するであらう題目であります。

女性に貞淑の風がだん／＼影を薄くして参りまして、服装も便利主義となり、頭も男のオールバックに対して断髪か束ね髪になつて、消費経済に閉ぢ込められてゐたものが、街頭に叫ぶようになり、体育の奨励によつて、女の体骸が丈夫になつて来て相当の勞務に堪へ、婦人運動の第一線に立つてゐる所謂婦人運動家の態度なり、言語なり、思想なりは著るしく男性化して参りましたことは、伝統的の男女關係を破壊する傾向が事実になつて現はれて来たので御座ゐます

更に民法上の障壁——たとへば、財産の所有權の如き、また刑法上の差別撤廃——たとへば、姦通の場合の如き、また法制上の機會均等——たとへば、女官吏登庸問題の如き、こういう問題が除き去られなければならぬことは人道上看ら見て当然のことで、さうな形勢になりまして、今は婦人が一躍して地歩を占め、セックスを離れて人類として、男性に対する地位の爭奪戰を展開するような光景が今からアリ／＼と眼にうつつて来たのであります。

「195

この形勢がいゝことか、悪いことかそんなことを言つて議論をしてゐる人もありますが、私はこれを愚かなことだと思ひます。何となれば、いゝことでも悪いことでも、これは世界の大勢で堰き止め得られないことで、既に堰き止め得られないものとすれば、可否の論を考へてゐるのは無用なことであります。

国家としても、社会としても、女性の擡頭は或は喜ぶべきことで

ないかも知れません。しかしながら、いかにせん、今や職業問題から出発して両性の争ひは既に開始せられて、日一日と深刻味を加へて行くのであります。

「196

女は緻密であります。緻密なだけ大局に眼がとどかない、偏狭なだけ集団としての歩調が揃ひません、さういふ欠点があるため、男性はまだ御安神になつて居りますが、このからは、婦人運動のヒコ、によつて、破られますことは明らかで、両性の競争は婦人が参政権を獲得することに於てスタートを切るものと考へます。

私のお話はこれで終ります。

私はこの問題に対して結論を述べる必要はないと思ひます。何となれば、よからうが、悪からうが、世界の大潮流はかような事実を流してまゐりまして、人の力では堰き止められない——つまり、「197議論を超越した力のある事実なのであるからです。

服装討論会にて

私は便宜上洋服党と名乗つて出たのですが、その実は洋服本党で政府党でもなければ在野党でもない——水陸両棲動物、換言すれば二重生活者なのでございます。

一枚の着物で散歩にも訪問にもまた出勤にも用ゐられる。こんな便利なものを（手を振つて見せる）強ひて洋服と名付けるから二重生活だなどといはれるのですが、これは厳格な意味に於て労働用の「198筒袖に過ぎません。ヤンキーのように一枚の毛皮の外套に何千何万といふ大金をかけることは一重生活でも半重生活でもクォーター生活でも贅沢であります、働くに洋服、家庭では和服、こんな便利

なものなら二重生活はおろか、支那服でも流行らせて三重生活、夏にはアラビヤ服も用ゐて四重生活もよからうと思ひます、もつともアラビヤ服とは裸で暮すことですが……。『勤』を忘れて『儉』ばかりを知つて、収益経済を閑却して、消費経済の埒内に小さくなつてゐる。——それが日本の女の悪い癖で御座ります。私は新聞記者として筆を持つ時には人を訪問する時でも便利で御座りますから「199日を洋服七分に和服三分で暮してゐますから洋服党と自称したので言論も従つて茫漠たるものとなつて仕舞ひました、結局は曖昧な態度で洞ヶ峠……ではないこの壇を下りることにいたします。

台所の革命

科学は進歩しました、金もうけと人殺しとの方面に驚くべき進歩を見せましたが、人類の福祉を基調とする方面には一向に進歩してをりません、特に生活の基礎となるべき家庭には進歩した跡は何ものもありません。 「200

瓦斯の研究の進歩したものは一リツトルで一里四方の人畜を鑿殺しにする毒瓦斯であり、水圧の研究の進歩したものは軍艦はもちろん戦争となれば手段を択まずして商船でも撃ち沈める潜水艦であり光の研究の進歩したものは、紫外線の利用で飛行機を墮したり人を盲にする殺人光線であり、飛行機でも自動車でも、まさかの時に敵を殺す方法を基として研究を進めてゐます、その敵といふのは何であるかといふに悪魔でも猛獣でもなくして、矢張り同じ人間同志が殺し合ふといふ情けないことに利用せられるもので、いくら進歩しても家庭に何等の恩恵をも与へてゐません、立派な道路が出来まし」201

た、その裏面にはまさかの時には軍用自動車の走路として計画せられ、染料が造られる、この半面には、まさかの時に爆弾工場に利用せられるように造られてあります、なぜそんなに喧嘩や人殺しの手段ばかりを考へて人類の福祉に触れることを考へないのでしようか。

人間がだん／＼殖えてくるに反比例して石油がだん／＼産出量を減じます、石炭も同じこと、食料は欠乏して来ます、こんなもの、代用品は科学者の智識に俟たねばなりません、然るに科学者は人殺しの研究に忙しく、その次には金もうけの考へに忙しい、科学智識を家庭に取り入れて生活の改善を計るといふようなことはチツとも考へてゐません、わが国の台所をのぞいて見ますと、つけものといふがあり、大根なんかを二ヶ月も三ヶ月も糠みそで腐敗させて、臭いにほひを沸かせて大切な空地をふさいてゐる、米をかして御飯をたく、その手数のかゝること、食事でも掃除でも洗濯でも不衛生不経済で科学智識と何等の交渉もありません、モツと手数のいらぬ費用のかゝらぬ、そして味のいい食物、住みよい台所がなければならぬ筈では御座いませんか、世の中は進歩してゐますが台所ばかりは昔のまゝで残つて居ります。

それといふのも女の科学者がないからであります、学校でも法律とか文学とか美術とかいふ人文科学のものは設備も安上りに出来ませんが、理学とか化学とか工学とかに関する自然化学のものは器械や設備に費用がかゝるといふので学校も少くして修学の便利が悪い、権利義務や哲学論は結構であつてもお台所にミ、ズが這つてゐるようなことでは、文明を詛はずには居られません、この閑却せられた生活状態に生活の革命といったよつな大発見が出来なければならぬと

私は考へてゐます。

ちかごろ女子の好學熱は勃興して誠に結構なことで御座いますがみな同じような方面に走つて、手近かなそして大切な足もとをおろすかになしてゐる憾みがあります、科学に心を潜めて研究するといふことは静かな女性にふさはしいことで男にばかり任しておけば折角の研究もみな喧嘩と人殺しにばかり利用せられて人間の幸福を考へてくれません、女性が一路直ちに人類の幸福を築くことは科学の研究であつて、また履みもみぬ処女道路として女にばかり残されてゐるもの、それは台所の革命であらうと思ひます。

中平文子射撃事件の一考察

フランスの客舎で情人のためピストルで撃たれた中平文子に絡まゝる恋愛事件……最近起つたこの事件を捉へて批判を試みたいと存じます、咄弁でございますが、しばらくの御清聴をお願いいたします。

事件は簡単であります、恋愛の舞台は大きく、国際的になつて居ります、彼女は伊予の生れで名古屋の高等女学校を卒業するなりすぐと結婚して三人の子を生んだが、やがて離縁となり、東京へ出て文芸協会へ這入つて女優となりましたが、小柄だから舞台はえがしないといふところから、二十五歳の時には中央新聞の婦人記者となつて、目下政界の立者となつてゐるある紳士と恋愛関係を起してそれを露骨に雑誌に発表して、世人を驚かしました。それから京都へ来て尼寺で尼になるつもりであつたが、そこでも若い燕と恋愛関係が起り、支那へ行つて満州辺を放浪した揚句、奉天で実業家の妾となり、また東京へ舞戻つて二三の恋愛を通過した後、ある文士と

結婚して、夫婦でパリに到り、その後、帰国しまして東京で震災に逢ひ、再び夫婦でフランスへ渡り、そこで料理屋を経営し、ロンドンに於いて、英仏間に恋愛の種を蒔いて歩き廻りました。

この女の歩く周囲には必ず異性が付きまとい、いろいろの問題も起きたが、つひに南仏のダンス場で、ある異性から嫉妬の射撃を受けたが、創は左の頬を貫いただけで、軽傷であつた……事件」207の筋書はまづこんなもので御座ります。

この筋書は電文によつて、つなぎ合せたのですから、その中間違つてゐる点もあるかも知れませんが、また間違つてゐても差支はない……といふのは、私は何も中平文子といふ女性が、あらうが、あるまいが、そんな事件は少しも構ひません、つまりこんな女があつたものと仮定してまア小説中の人物と思つてもいいのですが、モシこういふ人があつて、こういふ行為をしたものとすれば、どんなものかモシ自分がそんな境遇にあつたならドウしたであらうといふことを、皆さんとお互に研究して見たいと思ふので、私は関西聯合婦人会の婦人雑誌の会報にこの事を執筆するよう社から命ぜられて居りまして、その研究の一端をこゝでお話をして、私も浮世なれない身の上ですから考へ違ひの点があつたなら皆さまで教へを受けたと思ふので御座ります。

私も職業婦人の一人として、中平さんと同じ業務にたづさはつてゐるといふ点から、同情なくして批判することが出来ません、しかし、彼女が恋愛をオモチャのように取扱つて貞操を濫用したといふことは、如何にも情けないこと、思ふのです、突然に彼女の生涯を見た時はいかに大胆な、そして気の強い女のように思はれますが」209

その実は小胆な、そして気の弱い女性の弱点をサラゲ出してゐる事に驚かされます。

彼女が三人の子までなした家を離縁になつたといふ、これが放縦生活に入る動機であつて、人は彼女が貞操を余りに軽く見てゐると論じますが、私はさうとは思ひません、彼女が貞操を余り重く取扱ひ過ぎたものと考へるのでございます。

物は重く見ずとも弊害があり、また軽く見ずとも同じ程度の弊害がございます、貞操は婦人に取つて尊重すべきものでありますしかし、或る事情によつて、この貞操が破壊せられた時、すなはち」210

中平さんが名古屋で離縁になつた時の如き、旧道徳からいへば、創ものであつて、いはば前科もの、ような待遇を受けねばなりません、その身は貞操を破壊せられ環境からは特殊扱ひにせられる、そこで気の強い女であつたなら、自分の新に進むべき路を開拓して、更生の大理想を樹てるべき重大な時であります、然るにかような出来事に出喰はして、常識のバランスを失ひ、つまり、ヤケになつて恋愛を遊ぶ境遇に墮落するといふ事は実に卑怯なやり方といはねばなりません、つまり貞操を重んじ過ぎて離縁と同時に女の生命が失はれたものと錯覚して、独立の意識を失つたもの、則ち、極めて弱い方」211

われ／＼女性は全力を以つ貞操を護らなければなりません、しかし余儀なき事情の下に貞操を破壊せられたならば、更に之に対して新しい方針の下に進まねばなりません。

私は第一歩に於て彼女が貞操を失つたことを気の毒に思ふと同時に余りに貞操に重きを置きすぎた誤つた感念から、身を持ちくづし

たことに同情するもので御座います、つまり頭が余り旧るかつたためにこんな方角を迷つたものであらう。

彼女の心はかうして荒みかけたのです、ところへ、更に彼女を魔」212

道へ引入れたのは天成の美貌で御座います、新聞で見ますと彼女は魅惑的な容色の持主であり、彼女の手は非常に美しくつて、その指の白く、そして肉付きのいゝ、一たび握手せられたなら異性は身ぶるひするといふ電気仕掛けのような……そんな美しい女、そして荒んだ心、内外相応じて暗い道へ引かれて行くことに何等の疑ひもないことであります。

第二は職業婦人、これが墮落し易い危険な職業で、男性に交際する機会が多く、比較的時間の融通がつき易いもので御座ゐますから意志が非常に鞏固なものを除いては、その末路は極つて悲惨なもの」213

に終るのでございます、顎が出て頬がふくれてゐる顔は東京でおかめ、こちらではお多福と申します、また中平ともいふ、つまり鼻が低くて中が平たいからであります、文子さんは名は中平でも中々美人であつたから危険は更に人一倍であつたこと、想像せられます醜い容貌は貞操を保護する武器ともなりますが、美しい姿は最も危険な上に、男性の或るものは娼妓や芸妓遊びに飽きて、その飽きツばい魔の手を職業婦人の上に延ばして愉快とする傾きがあります、現今の社会組織としては、こんなことは男性に取つては一の遊戲に過ぎないのであるが、女性に取つては一身一家の興亡にか、は」214

第三は恋愛を以て遊戲と見なすことであります、処女時代の恋愛は真剣であります、一たびヤケになつた墮落女の恋は遊戲であり

ます、無茶な考へを持つ女に取つては、これほど面白い遊戲はないのであります。

始めは男性から誘惑せられて苦しむが、次はこちらから誘惑にかかる、つまり受動から能動的に進化するのです、進化といふものをかしいが……。

愛から愛へ、恋から恋へ、飛び廻つて、名古屋から東京へ、東京」215から京都へ、京都から支那へ、支那からフランスへ、フランスからロンドンへ、鵬程二万キロメートル訪欧飛行機よりお尻が軽い……これは面白かりさうな事で、しかしその末路の決算は差引きして、悲惨な成績を示します、つまり差引いたら、苦しみが残る、そろばんを弾いて引合はぬ取引であるといふことに気が付かないうちが、面白いので、つまり刹那の楽みに、大局の失敗を招くのでござい

す。

第四は肉体をもつて虚栄と交換しようとする誤つた考へで、女性が肉を以て生活しようとする、これほど卑しい考へは御座ゐません」216

しかしこれは今日の制度として、あながち、女性のみを責めるのは酷で御座ゐます、女の職業として立つべきものは一部に限定せられて、男性と同じ権利を得てゐません……が故に、経済的に独立することは種々の障害に出喰はすので御座ゐます、そういう時に、やゝもすれば女性として最後のものを以て金に換へようとする情けない情念が発動するので御座ゐます、中平さんは賢い女性であるらしいのですが、それでも自分の美しい姿といふことから関聯して、肉を以て経済政策に利用した痕跡があるようで、私は気の弱い女性であると痛感するので御座ゐます。

」217

幸ひに傷が浅かつたといふことで御座ゐます、射たれたピストルの弾丸は頬を貫いて口へ入つて、舌で丸めて吐き出したといひますが、男を掌の中へ丸めるといふことは聞いて居りますが、ピストルの弾丸を舌で丸めたとはどんなにしたものか……妙なこともあつたものです。

けれどもこのピストルの一撃は或は彼女に取つて偉大な教訓となることを希望して止まないのです、私も職業婦人として彼女の取るべきコースを転換して正しき路に進むことゝもなつたなら、この一ト撃ちは彼女に取つて価値のあるものといはねばなりません。

彼女の撃たれたことは気の毒で御座ゐます、始め彼女が撃たれて死んだとの電報が来た時、私は世の人のように、あんな結論に到着するのは当り前だ……といったような冷やかな感想を持つことが出来ませんでした。

私は彼女のために悲しみ、彼女のために哀れみ、そして偉大な数数の教訓を得ました、どんな教訓を得たかといへば、前に述べた言葉を帰納して次のような生きた問題を提供せられたので御座ゐます

第一、離縁になつた若き女性の進むべき道

第二、職業婦人の守るべき品性

第三、恋愛を如何に取扱ふべきか

第四、女性の経済的独立

こういふ六かしい事件が彼女の歴史の中から摘み出されるので御座ゐます、これに就ての私の意見を述べることは余り長き時間を費して皆さん方の倦怠を感じしめることでしょうか、これは私の本職の筆に譲りまして第三巻第二号の「婦人」誌上に掲げることと致し

「
219

「
218

まして、たゞ今としては、たゞ中平さんが射たれたといふ電報だけの報導を仮り事実として取扱つて、私の感想を申述べたに止まります。

てうど本日はリツチ射撃事件の公判が東京で開かれてゐるはずでございます、この事件も少女の外国人射撃で、これは女が男を撃つたので、加害と被害とが地位を顛倒して居りますが、永井柳太郎さんの口調でいへば西にレーニン東に誰れといふ代りに西に中平、東に深谷、ともに女とピストルで同じような事が時を同じうして起つて居ります、これから女性に関するこの種の事件は間断なく起ることであらうと思ひます。

繰返へしてお断りをして置くことは、電文をそのまゝ、事実として批判したもので、いづれ中平さんに逢ふ機会があつたら、お話を聴いた中で、中平さんの名譽のために正誤もすれば抹殺もする考へでございます。

私は筆の人であつて、舌の人ではありませんから、つい長談議に亘りましては御退屈であつただらうと存じ恐縮しながら、この壇上でお別れを致します。

「
220

「
221

北村兼子女史演説集 終

「
222

(奥付)

大正十五年四月一日印刷
大正十五年四月五日発行

定価金 並製五十銭
上製一円

不許	復製
----	----

著者 北村 兼子

発行者 瀧本 恭治郎
大阪市西区阿波座下通二丁目三六

印刷所 瀧本製本印刷所
大阪市東成区猪飼野町一三二七

大阪市西区阿波座下通り二丁目

発行所

改善社

電話新町一六二五番
振替大阪七五九三九番

(広告1)

大阪毎日新聞批評

朝日新聞記者として北村氏の名はすでに聞いてゐたがその文を読むのは今がはじめである。北村氏の文は美しくはない。またさう深いものとも思へない。けれどもたしかに面白い文章である。「ひげ」「青狐赤狐雑狐」「顔」の一部「妻の縫った洋服」等々みな相当のユーモアがあつて下品でなく随筆の妙を極めてゐる。たゞ演説などの中にはなくもがなのものである、北村氏の出発は甚だ有望である。

東京読売新聞批評

「ひげ」「顔」外世篇の長短随筆集で髯や顔面から男を品評したり世態を考へたりしてゐる点に先づ著者の恐しく鋭い観察眼が光つてゐる「娼妓運動を瞥見して」その他では著者の理智の剃刀のやうな切れ味が驚嘆される女性としてこれほど明快犀利な娼妓反対論を大胆に云ひ切つた例を聞かない関西大学の法科に学び既に大朝の婦人記者をしてゐるといふが立論も筆もまさに所謂男まさりの達者である。

全国各新聞が囂々たる批評のうちに、初版は十日に売尽し再版―三版―一ヶ月たゝぬうちに今四版。

大阪市西区阿波座
下通り二丁目三六

改善社

電話新町一六二五番
振替口座大阪七五九三九番

(広告2)

好評忽ち四版

大阪朝日新聞記者
北村兼子史著

ひげ

紙質を改め著者の再序を加へ装
し出て！ 四六判 四百六十頁

表布地天金頗美本
【定価金二円・送料二十銭】

ひげ……………(長篇随筆)	内容目次
女は歩調を揃へ……………(論文)	
て馬鹿であれ……………(論文)	
犬と警察と泥棒……………(論文)	
神を売るもの……………(論文)	
青狐赤狐雑狐……………(論文)	
むかし昔の支那刑法……………(論文)	
私は嗤ふ……………(論文)	
熊になつた先生……………(創作)	
忘れた帽子……………(創作)	
恋の地震……………(随筆)	
飛行機に乗つて……………(随筆)	
うきよ小景……………(小品集)	
新聞記者の初感想……………(随筆)	
共産主義の芽……………(随筆)	

解説

ここに再録した書籍は、関西大学最初的女子学生であり、ジャーナリストとして活躍した北村兼子（1903～1931、写真1）の2冊目の著書『短い演説の草案』の全文である。『短い演説の草案』は北村兼子の1冊目の著書『ひげ』と同じく、大阪市西区にあった改善社から、1926（大正15）年4月に出版された。『ひげ』は四六判であったが、『短い演説の草案』は、大きさが縦12・9センチメートル、横が8・1センチメートルと書籍としては非常に小型で、文庫本よりも小さい。3冊目の著書『竿頭の蛇』に掲載された『短い演説の草案』の広告（写真2）では、「ポケット型」と記してある。おそらく、書籍としては小さな判型であったことから、モノとしての保存・管理が行き届かず、その多くが失われてしまったと思われる。2026年3月現在で、ウェブ検索で『短い演説の草案』の所蔵が確認できた図書館施設



写真1 北村兼子（北村兼子資料）

は、名古屋大学法学図書館だけという、珍しい書籍になっている。また、北村兼子の著書は、現在、国立国会図書館のデジタルコレクションでの閲覧が可能だが、国立国会図書館に所蔵がない『短い演説の草案』はデジタルでの閲覧もできず、手軽に本文が読めない（北村兼子著書一覧）参照。このようなことから、年史編纂室では北村兼子の業績を広く知ってもらうことを目的に、『短い演説の草案』の全文を再録することにした。

『短い演説の草案』の構成について

『短い演説の草案』は、名古屋大学法学図書館が所蔵する「瀧川文庫」に含まれている。瀧川文庫は、刑法学者であった瀧川幸辰（元京都市長、京都大学名誉教授）の旧蔵資料で、1983年に名古屋大学に寄贈され、1987年には『瀧川文庫目録』全3冊が刊行されている。



北村兼子著書一覧（ログイン情報は2026年3月現在）

書名	刊行年	発行	国会図書館 デジタルコレクション	復刊
ひげ	1926(大正15)年2月	改善社	○	女性のみた近代 第1期 第3巻（ゆまに書房、2000年6月）
短い演説の草案	1926(大正15)年4月	改善社		
竿頭の蛇	1926(大正15)年5月	改善社	○	近代日本のセクシュアリティ 第19巻 ジャーナリズムと性（ゆまに書房、2007年12月）
恋の潜航	1926(大正15)年10月	改善社	○	女性のみた近代 第1期 第4巻（ゆまに書房、2000年12月）
怪貞操	1927(昭和2)年2月	改善社	○（ログイン）	近代日本のセクシュアリティ 第19巻 ジャーナリズムと性（ゆまに書房、2007年12月）
婦人記者廃業記	1928(昭和3)年1月	改善社	○（ログイン）	伝記叢書 94（大空社、1992年7月）
私の政治観	1928(昭和3)年5月	改善社	○	
女浪人行進曲	1929(昭和4)年2月	婦人毎日新聞社	○	
情熱的論理	1929(昭和4)年4月	平凡社	○（ログイン）	
表皮は動く	1930(昭和5)年2月	平凡社	○（ログイン）	
新台湾行進曲	1930(昭和5)年4月	婦人毎日新聞社 台湾支局	○（ログイン）	文化人の見た近代アジア 第13巻（ゆまに書房、2002年9月）
地球一蹴	1930(昭和5)年9月	改善社	○	近代日本のセクシュアリティ 第26巻 躍動する女性たち（ゆまに書房、2008年10月）
子は宝なりや	1931(昭和6)年3月	万里閣	○（ログイン）	
大空に飛ぶ	1931(昭和6)年10月	改善社	○（ログイン）	

名古屋大学法学図書室が所蔵する『短い演説の草案』は、次のような構成になっている。

表表紙（革張り）

表見返し（見返し遊び紙に献呈辞がある）

扉（蔵書印を押す）

口絵写真 1・2

序文（北村兼子の自序）

目次

短い演説の草案 58篇

北村兼子女史演説集 8篇

奥付

『ひげ』の新聞批評・広告

方眼ページ

裏見返し

裏表紙（革張り）

前出の『短い演説の草案』の広告（写真2）には、本体の価格について「並製五十銭」「上製一円」とある。名古屋大学法学図書室の『短い演説の草案』の表紙は、現状では剥がれた部分が多いが、表表紙、裏表紙とも革張りなので、「上製」は革張り装丁の本であろう。表表紙のタイトルは型押しになっていて、天から約2.5センチメートルのところに左から右へ「SHORT SPEECH OF DRAFT」の文字を凸状に浮き出させて、さらにこの英文書名の下に、現状は不明瞭であるが、これも左から右へ「ミジカイ エンゼツノ ソウアン」の文字を凹状に窪ませ

て表示してある。裏表紙は、無地のようである。

背表紙の上部には、この書籍のタイトル「短い演説の草案」とある。下部には、現状では図書ラベルや補修により隠れて全体が見えないが、「大」の文字だけが確認できるので、『ひげ』と同じように「大阪朝日新聞記者 北村兼子著」と印刷されていたと思われる。

表見返しの遊び紙には、北村兼子から瀧川幸辰へあてた「捧瀧川先生 著者兼子」（写真3）の献呈辞がある。北村兼子の在学前後は、当

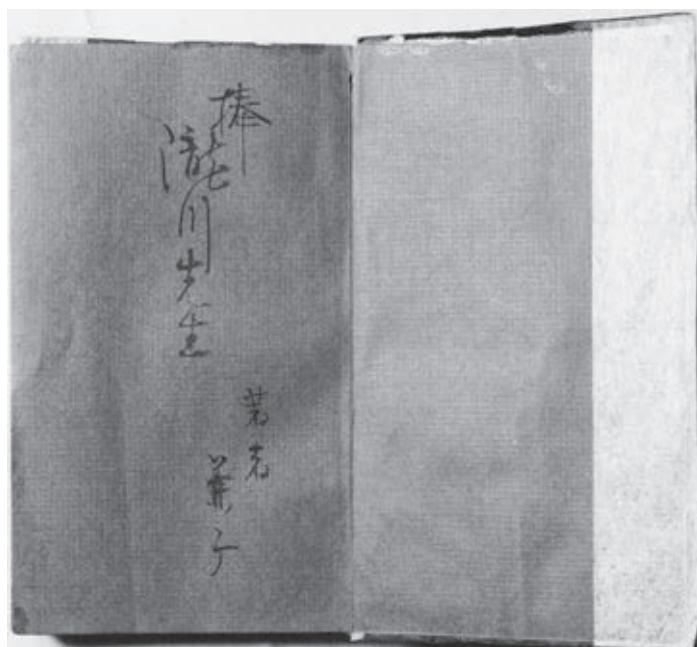


写真3 瀧川幸辰あての献呈辞

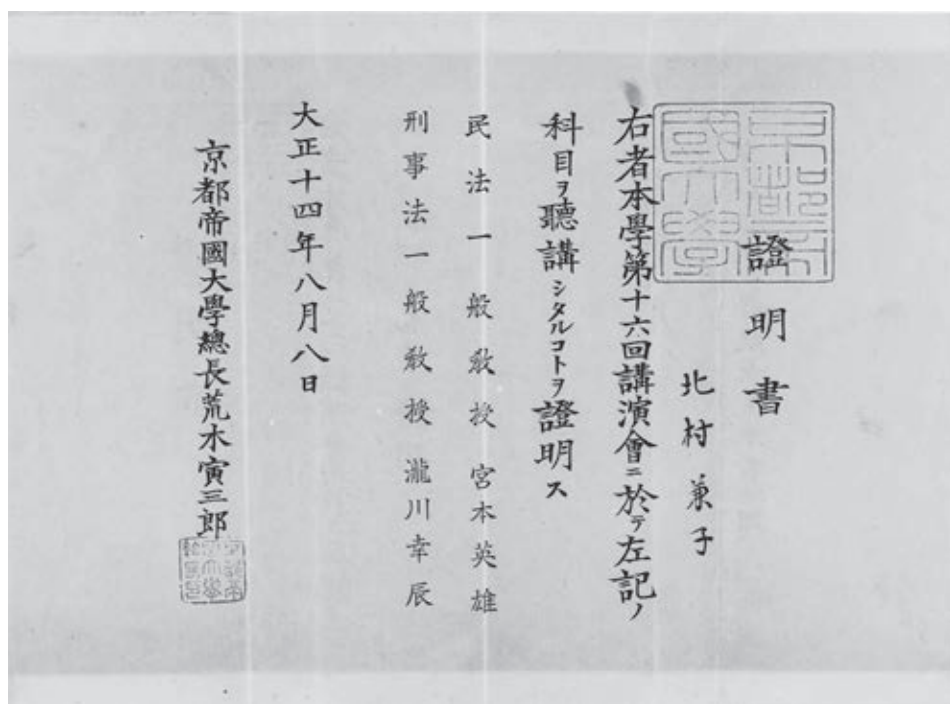


写真4 京都大学聴講証明書（北村兼子資料）



写真5 壇上で演説する北村兼子
(北村兼子資料)

時の卒業アルバムや「関西大学一覽」によれば、関西大学では刑法総論、刑法各論の講義は、京都帝国大学の宮本英脩が担当していた。しかし、1924（大正13）年は、関西大学では瀧川幸辰に刑法総論の講義を委嘱し（『千里山学報』第19号、1924年5月）、北村兼子はこの瀧川幸辰の講義を履修している（北村兼子資料1926（大正15）年3月8日付証明書）。さらに、1925（大正14）年8月には、京都帝国大学の第16回講演会で、瀧川幸辰が講ずる「刑事法一般」も聴講している（写真4）。北村兼子から瀧川幸辰への献本には、このような背景があった。

扉には、「名古屋大学法学部 瀧川文庫」の蔵書印を押す。口絵写真は2枚あり、同じ写真を、年史編纂室で預かる北村兼子資料から掲載する。口絵写真1は壇上で演説する北村兼子の写真（写真5）、口絵写真2はラジオ放送用マイクに向かう北村兼子の写真（写真6）である。

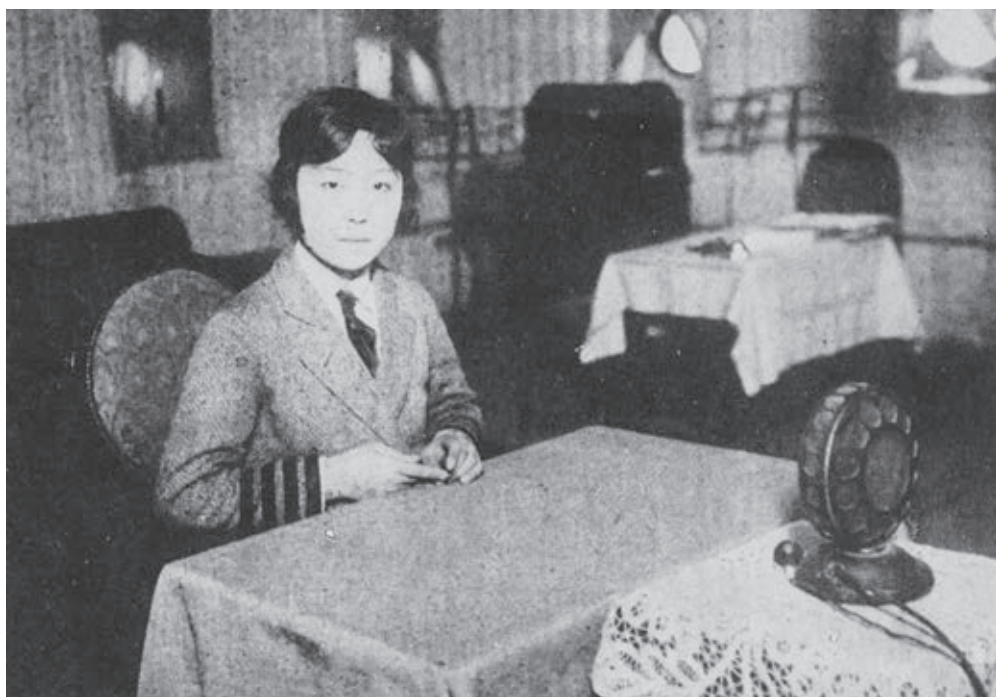


写真6 ラジオ放送用マイクに向かう北村兼子（北村兼子資料）

巻末には、奥付があり、『ひげ』の新聞批評と広告を載せる。さらに、丁合の関係からか、メモ利用を想定したと思われる方眼ページがあり、裏見返し、裏表紙となる。

『短い演説の草案』の本文について

『短い演説の草案』の本文は、1ページ30字9行(写真7)、全222ページで、「短い演説の草案」(1～164ページ)と「北村兼子女史演説集」(167～222ページ)の2部構成になっている。『短い演説の草案』出版の目的や経緯については、北村兼子は同書の「序」と「紙上演説」で次のように述べている。

「序」

この書は短い演説の模型を示したもので、練習の目的に綴られたものに過ぎないが、これによつて演説の仕方にヒントを与へるつもりである。最後に私の拙い演説速記が添てある、それはぜひ読んで頂きたい、

「紙上演説」

私は筆によつて立つてある新聞記者で御座いますが、時としては社から派遣せられて演説をしたり、または放送局でラヂオ演説を試みたりして、筆以外に舌を働かせる場合もあつて、その要点をノートに書き留めて置いたことがあつた、それを前月「ひげ」と題する私の文集を発行したに引き続いて改善社から出版したいといふ希望があつたので、臨時に急いで短いものを追加して見たのが、この一篇となつたので御座います。(3ページ)

『短い演説の草案』は、演説のひな形を示して、演説の仕方のヒント

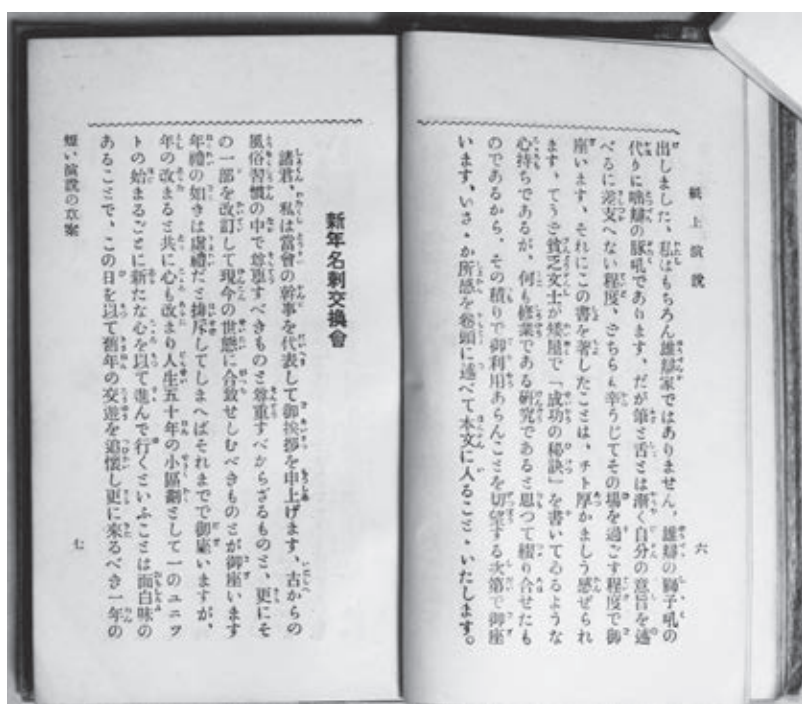


写真7 『短い演説の草案』本文

を与えるための書籍であるとする。刊行の経緯としては、北村兼子がこれまでに行つた演説の要点を書き留めたものがあり、これを『ひげ』に続いて出版したい希望があつたので、短編を追加して編集したと述べている。『短い演説の草案』は、後半の「北村兼子女史演説集」を公

刊することに重点があったようで、そのためわざわざ「序」で、後半の「北村兼子演説集」を「ぜひ読んで頂きたい」と記していたのだろう。

前半の「短い演説の草案」は、広告（写真2）では「演説の考案五十四種」と紹介しているが、目次には58篇が掲載されている。演説が想定されている行事や催しは、名刺交換会、銅像除幕式、卒業式の訓辞、道路開通式、忘年会、新工場落成式など多岐にわたる。後半の「北村兼子女史演説集」は8篇あり、本文全ページの四分の一ほどになる。この8篇については、ほかの掲載誌を検索してみたが、今のところ確認できたのは「両性の乱闘」「服飾討論会にて」「中平文子射殺事件の一考察」の3篇だけであった。

・両性の乱闘

掲載誌…「両性の乱闘」

（『関西婦人』第9年2月号、関西婦人社、1926年2月）

・服装討論会にて

掲載誌…「便利なものなら 二重生活でも三重生活でも」

（『新婦人』服装研究号、第3巻第2号、

愛国新婦人社、1926年3月）

・中平文子射殺事件の一考察

掲載誌…「批評 中平文子事件―南欧の歓楽地ニースで射殺された」

（『婦人』第3巻第2号、全関西婦人連合会、1926年2月）

再掲載…「最近事件の一考察」

（『竿頭の蛇』1926年5月、改善社）

「両性の乱闘」は、『関西婦人』と『短い演説の草案』の文章にほぼ異同はない。「服装討論会にて」は、『新婦人』と『短い演説の草案』では、タイトルの変更、語句の修正、文章の削除がある。また、文末が、『新婦人』（写真8）は「結局は曖昧な態度で本論を終わります」とあるが、『短い演説の草案』では「結局は曖昧な態度で洞ヶ峠……ではないこの壇を下りにいたします。」となっている。

「中平文子射殺事件の一考察」は、最初に雑誌『婦人』に掲載され、その後、『短い演説の草案』と『ひげ』に再掲載されている。この事件を取り上げるようになった経緯について、北村兼子は『短い演説の草案』のなかで次のように述べている。

私は関西聯合婦人会の婦人雑誌の会報にこの事を執筆するよう社から命ぜられて居りまして、その研究の一端をこゝでお話をして、私も浮世なれない身の上ですから考へ違ひの点があつたなら皆さまから教へを受けたいと思ふので御座ゐます。（208・209ページ）

また、北村兼子は、「てうど本日はリッチ射撃事件の公判が東京で開かれてゐるはずでございます」（221ページ）とも述べている。リッチ事件は初公判が1926（大正15）年1月22日、第2回公判は2月15日（1926年1月23日付『読売新聞』第5面）であるから、「中平文子射殺事件の一考察」の講演は、1月22日金曜日に行われ、この時には、『婦人』第3巻第2号への掲載が決まっていた（220ページ）。里の仙人は『ひげ』の批評文「大阪朝日の婦人記者 北村兼子さんに贈る書」（『竿頭の蛇』所収「ひげ」の批評の批評）に掲載）のなかで、「北村さん、あなたは最近に射撃された中平文子に対する一考察」とか



写真8 『新婦人』の表紙と掲載ページ（北村兼子資料）

題して、場当り的な演説を各所で試みられてゐる相ですね」と記しているのので、北村兼子は中平文子に関する講演を何度か行う機会があったようである。

「中平文子射殺事件の一考察」の執筆、講演と掲載の経過は、次のようになるのだろう。北村兼子は、大阪朝日新聞社から、中平文子に関する論評の執筆と掲載を命じられ、その成果は、まず1月22日の講演で発表した。論評文は、『婦人』第3巻第2号（1926年（大正15）年2月10日）に掲載した。1926年4月発行の『短い演説の草案』には、1月22日の講演の文字起こし原稿を掲載し、最終的には1926年5月刊行の『竿頭の蛇』に収録することになった。

『短い演説の草案』『婦人』『竿頭の蛇』掲載の文章を比べると、『婦人』では、軽妙な表現は抑えられて、全体に硬い文章になっている。また、この三つの書では文末が大きく異なっている。『婦人』掲載の本文では、「かういふ六つかしい問題が彼女の歴史から摘み出されるのでございます」と結ぶ。『短い演説の草案』掲載の本文は、「かういふ六かしい事件が彼女の歴史の中から摘み出されるので御座あります」のあと、ここに再録したように500字ほどの文章が続く。それが『竿頭の蛇』掲載の本文では、次のようにまとめ直されている。

かういふ六つかしい問題が彼女の歴史から摘み出されるので御座います、この文を書いてゐる時、リッチ射撃事件の公判が開かれたといふ電報が着きました、この事件も相当に世人の視聴を聳動せしめた事件で、永井柳太郎氏の演説口調で西にレーミン東に誰れといふ代りに、西に中平東に深谷、ともに女とピストル、同じような事が時を同じうして起つて居ります、これ

から女性に関するこの種の事件は間断なく起ることであらうと思はれます、

繰返へしてお断りをして置くことは電文をそのまゝ、事実として論評したもので、いづれ中平さんに逢ふ機会があつたら中平さんの名譽のために正誤もすれば抹殺もする考へで御座います
北村兼子が自分の講演や文章を再掲載する時に、どのように手直したのかがよく分かる事例である。

北村兼子略歴

1903 (明治36)年11月26日 大阪市北区に生まれる
1920 (大正9)年3月 大阪府立梅田高等学校卒業
1923 (大正12)年10月 関西大学法学部法律学科に聴講生として入学

1924 (大正13)年4月28日 『大阪毎日新聞』に「爆弾事件と法の適用」が掲載される
1925 (大正14)年2月2日 『大阪朝日新聞』の記者として採用される

1926 (大正15)年2月 『ひげ』出版

3月31日 関西大学法学部法律学科所定の全科目聴講修了

4月 『短い演説の草案』出版

5月 『竿頭の蛇』出版

1927 (昭和2)年7月23日 大阪朝日新聞社を退職

1928 (昭和3)年8月 第1回汎太平洋婦人会議 (ホノルル開催)

に出席

1929 (昭和4)年6月 第11回万国婦人参政権大会 (ベルリン開催) に出席

6月下旬〜8月 欧米を歴訪

1930 (昭和5)年4月下旬〜8月 台湾・中国を歴訪

12月 東京立川の日本飛行学校に入学

1931 (昭和6)年7月6日 飛行士免許取得

7月13日 盲腸炎で入院

7月26日 腹膜炎で逝去。27歳。

10月 遺著『大空に飛ぶ』出版

*大谷渡『北村兼子 炎のジャーナリスト』(1999年12月、東方出版)による。

再録にあたって

- 名古屋大学法学図書室所蔵(瀧川文庫)、北村兼子『短い演説の草案』の全文を再録した。
- 改ページは「」で示し、一部にはページ数を入れた。
- 本文は総ルビであるが、ルビは省略した。
- 旧漢字は新漢字に改めたが、かな遣いはものとままとした。
- 本文の疑問点は修正せず、別表で修正案を示した。
- 本文には今日の観点から見れば、考慮すべき表現・用語があるが、原本のままとした。

『短い演説の草案』の修正案

	ページ・行	現状の本文	修正案
目次	4頁9行	料理店の改築 成宴	料理店の改築落成宴（本文タイトルによる）
目次	6頁8行	夜学の開講	夜学会の開講（本文タイトルによる）
目次	8頁2行	婦人参政に就て	婦人参政に就いて（本文タイトルによる）
本文	8頁5行	敬意に欠げる	敬意に欠ける
本文	15頁2行	漸く（ルビ：やうや）	漸く
本文	22頁5行	自治体	自治体
本文	30頁7行	簇生（ルビ：ぞくしゆつ）	簇出
本文	48頁7行	紀元節の祝辞会	紀元節の祝賀会
本文	52頁4行	いゝさか	いさゝか
本文	58頁2行	何か	何が
本文	95頁5行	寿筵	寿筵
本文	100頁1行	観迎	歓迎
本文	102頁8行	決てて	決して
本文	103頁4行	食糧自給改策（ルビ：せいさく）	食糧自給政策
本文	107頁6行	神系衰弱	神経衰弱
本文	111頁5行	鑪（ルビ：やすり）	鑪
本文	119頁8行	押しさげるの当会の目的であらう	押しさげるのが当会の目的であらう
本文	135頁2行	恐れてゐると ろは	恐れてゐるところは
本文	153頁1行	尽していちゞきたい	尽していたゞきたい
本文	161頁1行	危ふんて居る	危ふんで居る
本文	167頁4行	言ひ尽さされて	言ひ尽されて
本文	168頁8行	仲味	中味
本文	168頁8行	少く（ルビ：せうせう）	「く」を踊り字とする
本文	175頁4行	敗路	販路
本文	180頁7行	経論（ルビ：けいりん）	経綸
本文	192頁9行	湧かさずに	湧かさずに
本文	204頁6行	いつたよつな	いつたような
本文	212頁2行	全力を以つ	全力を以て
本文	214頁2行	こちらでば	こちらでは
本文	220頁8行	電報だけの報導	電報だけの報道